

令和元年度

ふるさと川南の教育



川南町教育委員会

川南町民憲章

わたしたちの町川南を、

豊かで明るく住みよい町にする
ために、この憲章を定めます。

一、融和と開拓精神にもえている町民で
あることに、誇りをもとう。

一、郷土発展のために、心魂をかたむけてきた
先輩に、感謝のまことをささげよう。

一、近隣愛にもえ、豊かな暮らしをするための
物づくりに、力をあわせよう。

一、ひとりひとりの可能性を信じ、未来を
ひらく青少年育成のために、力をあわせよう。

一、自然を愛し、健康で明るい家庭と社会を
つくるために、力をあわせよう。





令和元年度 ふるさと川南の教育

～ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

川南町教育委員会
Team Kawaminami

I 町民総ぐるみによる教育の推進

- 学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進
 - ・ 地域学校協働活動の推進に向けた「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業(地域学校協働本部事業)」の展開
 - ・ 地域学校協働活動推進員の配置と地域連携コーディネーターの連携強化
- 家庭や地域の教育力の向上
 - ・ 「早寝・早起き、朝ご飯」、「ノーメディア・デー(アワー)」等の推進
 - ・ 家庭教育学級の充実
- 開かれた学校づくりの推進
 - ・ 学校からの情報発信の充実
 - ・ コミュニティ・スクールの導入

III 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

- ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
 - ・ 開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実
 - ・ 川南の記念日等(リ・ポーンデー、消毒の日)を利用した活動の啓発
- 地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
 - ・ 子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進
- キャリア教育の推進
 - ・ 核となる体験活動を位置付けた多様な学びによるキャリア教育の推進
 - ・ 地域学校協働本部の活用によるキャリア教育の推進

川南町教育基本方針

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第5次長期総合計画基本計画、川南町教育大綱(教育振興基本計画)を受け、川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を推進する。

II 生きる基盤を育む教育の推進

- 就学前教育の充実 **知育**
 - ・ 幼保小連携の推進
- 確かな学力を育む教育の推進
 - ・ 各種学力テスト等の分析結果を生かした組織的な取組の推進
 - ・ 学習指導の改善・充実のための学校訪問の充実
 - ・ 外国語指導の充実のための外国語指導助手(ALT)との連携強化
 - ・ 英検(中学)及び英検Jr.(小6)の公費受験の実施
- 豊かな心を育む教育の推進 **徳育**
 - ・ 体験活動を生かした道徳教育の推進
 - ・ 生徒指導体制、教育相談体制の整備・充実
 - ・ 各学校の「いじめ防止プログラム」に基づく具体的な取組の推進
- 健やかな体を育む教育の推進 **体育**
 - ・ 児童会・生徒会活動の充実
 - ・ 立腰指導の徹底や体力向上プランの計画的・継続的な実践
 - ・ 安全、安心な学校給食と安全教育の推進
 - ・ 防犯・防災教室等の実施による安全教育の推進(危険予知・回避能力の育成)
- 共生社会を目指す特別支援教育の推進
 - ・ 就学相談、教育支援委員会の充実
- 人権が尊重される社会を目指す教育の推進
 - ・ 一人一人を大切にす言葉遣いの励行
 - ・ 人権教育に係る研修の充実
- 技術革新で国際化の進展に対応する教育の推進
 - ・ ICT機器や外国語指導助手の効果的な活用促進

V 生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

- 生涯学習の振興
 - ・ 広報紙等による情報の発信
 - ・ 人財(材)バンクの整備・充実
 - ・ 各ライフステージでの学習・発表の場の設定
 - ・ 放課後子ども教室と連携した放課後児童クラブの充実
 - ・ 社会教育関係団体との連携強化
- スポーツの振興
 - ・ 各種スポーツ団体の活動の充実・連携推進
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 文化の振興
 - ・ 文化連盟の活動支援
 - ・ 文化財の保護活動、郷土芸能の伝承活動の推進
 - ・ かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実
 - ・ 国民文化祭の開催準備
 - ・ 町図書館、文化ホールの管理・運営の充実

IV 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

- 教職員の資質向上
 - ・ 地域の子どもとともに生きる教職員の育成
 - ・ 川南町教育研究所の研修充実
 - ・ 教職員研修の充実とOJTの推進
- 学校における安全、安心の確保
 - ・ 地域と連携した安全体制の充実と安全、安心な学校施設の整備
- 学校の教育環境の整備・充実
 - ・ 教育環境の整備・充実
 - ・ 学校規模適正化の継続的な検討



川南小 見守り隊



通山小 あいさつ日本一流



東小 百人一首大会



多賀小 かんかん踊り



山本小 朝のボランティア



唐瀬原中 あいさつ運動



国光原中 ドリカム講話

目 次

宮崎県教育基本方針・宮崎県人権教育基本方針	1
令和元年度川南町教育委員会 実施目標	2
令和元年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳	4
川南町教育基本方針・川南町人権教育基本方針	6
令和元年度ふるさと川南の教育の推進にあたって	7
1 目指す町民像	7
2 基本的な考え方	7
3 総合的かつ計画的に取り組む施策	8
4 令和元年度重点事項について	9
5 具体的施策	11
6 令和元年度教育課事業計画	15
令和元年度川南町立小・中学校の学級編制状況	26
令和2年度から令和4年度までの児童・生徒数及び学級数増減見込み	27
令和元年度学校給食計画	28
川南町教育支援教室（フロンティアルーム）概要	29
令和元年度教育課施策（概要図）	30
令和元年度川南町小・中学校校長会組織表	31
令和元年度学校医・学校歯科医及び薬剤師	33
令和元年度教育事務分掌表	34
学校経営方針概要及び職員配置	36
川南町立川南小学校	37
川南町立通山小学校	39
川南町立東小学校	41
川南町立多賀小学校	43
川南町立山本小学校	45
川南町立唐瀬原中学校	47
川南町立国光原中学校	49
令和元年度川南町立小・中学校研究主題	51
令和元年度川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書	52
学校紹介	55

【宮崎県教育基本方針】

本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、

「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」

をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成をめざします。

【宮崎県人権教育基本方針】

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」と世界人権宣言はうたっています。すべての人はいかなる事由による差別も受けることなく、生命、自由及び身体の安全を確保し、それぞれの幸福を追求する権利を有しています。

本県においては、これまで宮崎県同和教育基本方針等に基づいて、真に差別をなくしていく意志と実践力とをもった人間の育成を目指し、日本国憲法に保障されている基本的人権にかかわる課題の解決に努めてきました。

しかし、今なお、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な人権問題が存在しています。さらに、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴い、新たな人権問題も発生しています。

そのため、宮崎県教育委員会では、これまでの取組の成果や課題、「宮崎県人権教育・啓発推進方針」の趣旨などを踏まえ、次のように人権教育を推進し、県民一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し合い、共に生きる社会の実現を目指します。

- 1 学校教育においては、幼児児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、幼稚園（保育所）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等が相互に連携を図り、全教育活動を通して人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、実践力を養うことに努めます。
- 2 社会教育においては、各種学級・講座等の機会において、基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の高揚に努めます。
- 3 家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールの尊重、善悪の判断など子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行うとともに、大人も子どもも共に人権感覚が身に付くように努めます。
- 4 人権教育を積極的に推進するため、人権及び同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などのあらゆる人権侵害をなくしていく意志と実践力とをもった指導者の養成や研修の充実に努めます。

本方針の実施に当たっては、教育の中立性を確保するとともに、市町村教育委員会及び関係諸機関との連携を図りながら、広く県民の理解と協力を得て推進します。

川南町教育委員会

1 教育長及び教育委員

教 育 長	木 村 誠	～平成31年 4月30日
	坂 本 幹 夫	令和 元年 5月 7日～
教育長職務代理者	内 野 宮 恵	平成25年10月 1日～
教 育 委 員	富 山 美 津 子	平成28年12月19日～
教 育 委 員	黒 木 実	平成27年 4月 1日～
教 育 委 員	小 嶋 久 美 子	平成27年 3月27日～

令和元年度 川南町教育委員会の実施目標

2 教育委員会の活動

項 目		実施事項	
大	小		
1 教 育 委 員 会 の 活 動	(1)教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	教育委員会会議を定期的及び随時開催し、教育に関する諸問題を協議することで一層の教育の推進に努める。
		教育委員会会議の運営上の工夫	教育委員による個別学校訪問の実施や町長部局、議会等との交流を図り教育の推進に努める。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	教育委員会会議の傍聴	教育委員会会議開催について広報し、開かれた教育委員会に努める。
		議事録の公開、広報	教育委員会の活動についての広報を町ホームページ等を活用して発信する。
	(3)教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携強化	教育委員会会議開催時に現状報告及び意見交換を実施し、連携を図る。
	(4)教育委員会と町長部局との連携	教育委員会と町長との意見交換会の実施	教育委員会・町長部局間との意見交換会を実施し、状況等の情報共有に努める。
	(5)教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	国・県及び児湯地方教育委員会連絡協議会主催の研修会等に積極的に参加するとともに、新学習指導要領に基づく実施状況や特別支援教育等の状況把握等のための研修を行う。
	(6)学校及び教育施設に対する支援、条件整備	学校訪問	定期的に学校訪問を行うとともに、教育委員を学校担当制とし、より密接な情報収集と課題等の改善に向けて助力する。
		所管施設の訪問	学校給食共同調理場を含む所管施設の訪問を実施し、課題等の改善支援に向けて助力する。

3 教育委員会が管理執行する事務

項 目		実 施 事 項
大	中	
2 教育委員会 が管理執行 する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。	事務の管理及び執行の状況等について随時に報告を求める。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	関係法令の改廃や住民ニーズとの整合性を確認の上、審議決定する。
	(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(5) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること。	自己評価及び評価委員による評価を実施した後、その結果を公表する。
	(6) 歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申出に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(7) 教育振興基本計画に関すること。	本計画の策定状況について随時報告を受け、教育委員の意見が十分に反映されるようにする。
	(8) 教科用図書の採択に関すること。	教科用図書見湯採択地区採択協議会の会議により次回採用の教科用図書について協議を重ね、決定する。
	(9) 通学区域に関すること。	川南町通学区域規則に基づき、状況に応じて審議決定する。
	(10) 文化財の指定及び指定の解除に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(11) 附属機関の委員の任免並びに委嘱及び解嘱に関すること。	関係法令、例規等に基づき、協議決定する。
	(12) 県費負担市町村職員の任免その他進退に係る内申に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(13) 教育財産の取得及び処分のうち、重要なものに関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(14) 教育委員会と職員団体との協定に関すること。	状況に応じ協議する。

令和元年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳

1 川南町一般会計歳入歳出予算(当初)

総額 9,354,000千円(前年度比 3.8%増)

2 教育課関係予算

総額 614,523千円(前年度比 2.7%増)

3 教育課関係予算の内訳

予算項目	令和元年度(千円)	平成30年度(千円)	増減(千円)	対前年度比(%)
2 総務費	360	94	266	283.0
1 総務管理費	360	94	266	283.0
11 諸費	360	94	266	283.0
3 民生費	39,791	38,265	1,526	4.0
2 児童福祉費	39,791	38,265	1,526	4.0
5 児童福祉総務費	39,791	38,265	1,526	4.0
6 農林水産業費	3,434	6,546	△ 3,112	△ 47.5
1 農業費	3,434	6,546	△ 3,112	△ 47.5
12 農村センター管理費	83	3,612	△ 3,529	100.0
13 公園管理費	3,351	2,934	417	100.0
8 土木費	21,766	21,084	682	100.0
3 都市計画費	21,766	21,084	682	100.0
5 都市公園費	21,766	21,084	682	100.0
10 教育費	549,172	532,431	16,741	3.1
1 教育総務費	118,351	113,914	4,437	3.9
1 教育委員会費	2,785	2,758	27	1.0
2 事務局費	115,566	111,156	4,410	4.0
2 小学校費	98,207	103,171	△ 4,964	△ 4.8
1 学校管理費	49,635	57,321	△ 7,686	△ 13.4
2 教育振興費	42,915	40,179	2,736	6.8
3 保健体育費	5,657	5,671	△ 14	△ 0.2
3 中学校費	59,148	66,175	△ 7,027	△ 10.6
1 学校管理費	29,122	38,120	△ 8,998	△ 23.6
2 教育振興費	26,794	24,867	1,927	7.7
3 保健体育費	3,232	3,188	44	1.4
4 社会教育費	157,221	159,800	△ 2,579	△ 1.6
1 社会教育総務費	56,613	56,077	536	1.0
2 公民館費	1,081	1,375	△ 294	△ 21.4
3 文化施設費	95,175	94,898	277	0.3
4 文化財保護費	4,352	7,450	△ 3,098	△ 41.6
5 保健体育費	116,245	89,371	26,874	30.1
1 保健体育総務費	8,697	8,914	△ 217	△ 2.4
2 保健体育施設費	193	183	10	5.5
3 学校給食費	107,355	80,274	27,081	33.7
合 計	614,523	598,420	16,103	2.7

教育課関係予算の概要

予算費目		主な内容
総務費		
総務管理費	諸費	日本三大開拓地交流事業のうち随行職員の旅費
民生費		
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童クラブに必要な費用
農林水産業費		
農業費	農村センター管理費	農村環境改善センターの維持管理に必要な費用
	公園管理費	東地区運動公園の維持管理に必要な費用
土木費		
都市計画費	都市公園費	運動公園及び高森近隣公園の維持管理に必要な費用
教育費		
教育総務費	教育委員会費	教育委員の報酬、旅費その他運営に必要な費用
	事務局費	A L T報酬、教育支援教室指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習センター施設の維持管理費を含む運営費用
小学校費	学校管理費	学校管理に必要な維持管理費用
	教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
	保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
中学校費	学校管理費	学校管理に必要な維持管理費用
	教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
	保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
社会教育費	社会教育総務費	社会教育委員報酬、社会教育指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習活動に必要な費用
	公民館費	公民館の維持管理に必要な費用
	文化施設費	文化ホール自主事業、図書購入費用及び文化ホール・図書館複合施設の指定管理に必要な費用
	文化財保護費	文化財保護審議会委員報酬、有形・無形文化財の保護保存及び維持管理に必要な費用
保健体育費	保健体育総務費	スポーツ推進委員報酬及びスポーツ関係に必要な費用
	保健体育施設費	学校施設の一般開放に必要な経費
	学校給食管理費	学校給食の調理等業務委託費及び学校給食共同調理場施設の維持管理に必要な費用

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第5次長期総合計画、川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）を受け、川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を次のように進めていくものとする。

川南町教育基本方針

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

川南町の教育は、ふるさと川南を愛し、先人から伝わる融和と開拓精神をもち、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や目標をもって、その実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成と生涯にわたって学び続け「自然と調和した、輝くまち新生かわみなみ」を創造し、飛躍・発展させることができる教育環境づくりを推進する。

川南町人権教育基本方針

川南町教育委員会は、一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し、共に生きる社会の実現と基本的人権に係る問題の解決においては、教育の果たす役割が極めて重要であるとの認識に立って人権尊重の教育に当たる。

学校教育及び社会教育においては、日本国憲法、教育基本法の精神、県人権教育基本方針に基づいて人権教育を推進する。人権問題は、多くの人々の努力によって解決に向けて進展している。しかし、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な問題が存在している。さらに国際化、少子高齢化、情報化などの社会の急激な変化に伴う新たな問題も発生している。そのため、次のように人権教育を推進していく。

- 1 学校教育においては、児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、小・中学校が相互に連携を図り、全教育活動を通じて人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、思いやりのある社会を築こうとする実践力を養うことに努める。
- 2 社会教育においては、各種学級、講座等の機会において基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に表れるような人権感覚の高揚に努める。また、家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールへの尊重、善悪の判断等子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行い人権感覚が身につくように努める。
- 3 人権教育を積極的に推進するために、人権及び同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などあらゆる人権侵害をなくしていく強い意志と実践力をもった指導者の養成や研修に努める。

【令和元年度ふるさと川南の教育の推進にあたって】

1 目指す町民像

「川南町教育基本方針」として、「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり」をスローガンに掲げ、その具現化を図るために、子どもたちはもとより、町民全てを対象として施策を展開します。

そこで、具体的な町民の姿を、「目指す町民像」として設定しています。

《目指す町民像》

- 夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人
- ふるさと川南を愛し、地域や社会の発展に主体的に参画する人
- グローバルな視野をもって活動する人

この「目指す町民像」の実現に向けて、次に示す施策に総合的かつ計画的に取り組んでいきます。

2 基本的な考え方

総合的かつ計画的に取り組む施策は、全般にわたって、次のように「横の連携」と「縦の接続」を重視して推進します。

- (1) 「横の連携」(学校、家庭、地域の企業・文化団体等の多様な主体の役割分担を踏まえた連携、協働)

生涯にわたって様々な学びや活動に取り組んできた地域の人や企業等で活躍する人は、かけがえのない貴重な教育資源です。社会全体で総合的に教育に取り組むためには、町民一人一人がこれまで身につけた知識や経験、技術などを学校や家庭、地域における様々な活動の中で生かすことが必要です。

そのため、これまで推進してきた学校や家庭、地域が連携した取組を基盤として、地域の企業やNPO法人、文化団体等の多様な主体が一体となった取組をこれまで以上に進めるなど、人と人との「絆」、地域における様々な「絆」を深め、社会全体の教育力を強化するための「横の連携」を重視して取組を推進します。

- (2) 「縦の接続」(生涯学習社会の実現に向けた、人生の各段階における活動の場の接続)

これからの新しい知識や情報、技術があらゆる領域で活動の基盤となる知識基盤社会の進展の中で、町民一人一人が必要とする知識、技術を習得し、生涯にわたって自己実現を目指すとともに、地域社会の中で身につけた知識や技術などを生かし活躍するなど、学びが循環する社会づくりを積極的に進め、「生涯学習社会」の一層の実現を図る必要があります。

そのため、保育所等、小学校、中学校の一貫教育の推進や学校教育と社会とのつながりを一層深めることが必要です。また、町民の誰もが生涯を通じて学習活動やスポーツ、文化活動等に取り組んだり、地域社会の一員として活動したりしながら自らを磨き高めていく環境づくりを進めるとともに、その学習成果を地域づくりや子どもたちの教育に積極的に還元できる機会を充実するなど、青少年期、成人期、高齢期等の人生の各段階における活動の場をつなぐ「縦の接続」を重視して取組を推進します。

3 総合的かつ計画的に取り組む施策

※ 施策目標Ⅰ～Ⅴの設定は、川南町教育大綱による

施策目標Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進

人口減少、少子高齢化など社会が大きく変化する中で、川南町を支える人づくりにあたっては、町民一人一人が、家庭や地域社会の一員としての意識を高め、それぞれの役割をしっかりと果たすなど、地域社会全体の教育力の向上を図ることが必要なことから、次のような取組を進めます。

- 1 学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進
- 2 家庭や地域の教育力の向上
- 3 開かれた学校づくりの推進

施策目標Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進

これからの学校教育においては、「知・徳・体」の調和を図りながら、子どもたちに生きる力を一層身に付けさせるとともに、共生社会の実現を目指す特別支援教育や人権を相互に尊重し、共に生きる社会づくりを目指す人権教育を推進することなどが、これまで以上に必要となっていることから、次のような取組を進めます。

- 1 就学前教育の充実
- 2 確かな学力を育む教育の推進
- 3 豊かな心を育む教育の推進
- 4 健やかな体を育む教育の推進
- 5 共生社会を目指す特別支援教育の推進
- 6 人権が尊重される社会を目指す教育の推進
- 7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進

施策目標Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

これからの社会を生きる子どもたちには、自立した一人の人間として力強くたくましく生き抜く力を育むとともに、ふるさと川南を愛し川南を支え、その発展に貢献する気概に満ち、地域社会をよりよくしていく活動に積極的に取り組もうとする意識や態度などの育成が重要なことから、次のような取組を進めます。

- 1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
- 2 地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
- 3 キャリア教育の推進

施策目標Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

町民一人一人が、子どもたちを「地元の学校に入学させたい」「地元の学校に出してよかった」と思われる魅力ある学校づくりに取り組みます。

また、次代を担う子どもたちの健やかな成長を図るためには、様々な子どもの学びや育ちを支える教育環境の整備、充実を一層推進する必要があることから、次のような取組を進めます。

- 1 教職員の資質向上
- 2 学校における安全、安心の確保
- 3 学校の教育環境の整備、充実

施策目標Ⅴ 生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

川南町が今後とも輝き続け活力を維持し発展していくためには、町民一人一人が夢や希望を抱き、生涯にわたって学びを深めたり学び直しをしたり、新たな学びに取り組んだりしながら自らを磨き高めることやスポーツや文化活動に取り組んだり挑戦したりするなど、様々な取組の中で自己実現を目指すとともに、身に付けた知識や経験、技術等を社会に還元するなど、学びが循環する社会づくりが必要なことから、次のような取組を進めます。

- 1 生涯学習の振興
- 2 スポーツの振興
- 3 文化の振興

4 令和元年度重点事項について

令和3年3月までの川南町の教育の方向性を示した川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）の確実な推進のためには、学校教育関係者、社会教育関係者をはじめ、町民が一体となった各立場での推進が必要です。

平成30年9月に実施した「ふるさと川南の教育に関する調査」の結果を見ると、児童生徒の生活習慣等に関する個々の質問に対しては肯定的な回答の割合が高く、概ね良好であると言えます。しかし、経年比較してみると、小・中学生ともに「自分には良いところがある」という質問に対する肯定的な回答の割合、また、「人権が尊重されている学校になっていると思う」という質問に対する「とてもあてはまる」と回答している割合が横ばい傾向となっており、さらなる「児童生徒の自己肯定感の育成」や「人権感覚の醸成」が課題となっています。また、今回、新たに追加した「新聞」に関する項目においては、低い割合となっており、学力向上との関連からも取組の推進が必要と考えられます。

校種別に分析すると、小学生には思いやりの心や地域貢献への意識付け、中学生には引き続き郷土愛や生き方に関する意識を高めていく手立てが必要だと考えられます。

そこで、令和元年度は、特に以下の施策に重点を置いて推進します。

施策目標Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進

これまでの学校教育や社会教育の取組を継承しつつも、これからの時代にあった新しい教育環境づくりに向けた取組を期待します。

- 地域学校協働活動の推進に向けた「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業（地域学校協働本部事業）」の展開
- 地域学校協働活動推進員の配置と地域連携コーディネーターの連携強化
- コミュニティ・スクールの導入

施策目標Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進

知育・徳育・体育のバランスのとれた教育推進を前提に、川南町ニューフロンティア教育研究会と連携し、本町の教育的課題の解決に向けて取り組むことを期待します。

- 重要な教育的課題である学力向上のための組織的な取組と読書活動の充実
- グローバルに活躍できる人材を育成するための英語教育の充実
- 生徒指導の3機能及びキャリア教育の視点からの教育活動の推進
- 体験活動を生かした道徳教育の充実と児童会・生徒会活動の充実
- 各学校のいじめ防止プログラムに基づく具体的な取組の推進
- 児童生徒と教職員の人権感覚を高める人権教育の推進

施策目標Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

ふるさと川南を愛し川南を支える子どもたちを育むために、ふるさと学習の充実を期待します。

- 「ふるさと学習」の充実とボランティア活動など地域に貢献する活動への積極的な参画の推進
- 地域学校協働本部の活用や核となる体験活動を位置付けた多様な学びによるキャリア教育の推進

施策目標Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

地域の教育力の要として教育委員会が示した「教職員へのメッセージ」を意識し、「児童生徒とともに学び続ける教職員」として常に向上心をもって取り組むことを期待します。

- 教職員の専門性を高めるための校内研修を中心としたOJTの推進、教育研究所研究員と連携した学校支援
- 教育環境の整備・充実
- 学校規模適正化の継続的な検討

施策目標Ⅴ 生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

社会教育においては、各ライフステージとリンクさせた子どもを中核とした施策運営を行うことを期待します。

- 放課後の子どもたちに関する社会教育施策と福祉施策を一体化した放課後児童クラブの充実とそれらをサポートする支援体制づくり
- 総合型地域スポーツクラブの活動支援と町民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり
- 文化財の保護と活用、国民文化祭の開催準備

<p>3 豊かな心を育む教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の授業の充実と地域への授業公開 ◎ 奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進 ○ 町立図書館と連携した読書活動の充実 ○ 生徒指導の3機能（自己存在感を与える、共感的な人間関係を育てる、自己決定の場を設ける）を生かした教育活動の推進 ○ 生徒指導体制及び教育相談体制の整備・充実 ○ 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実（フロンティアルームの充実） ◎ 各学校の「いじめ防止プログラム」に基づく具体的な取組の推進といじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり ○ 児童会活動・生徒会活動の充実 ○ Team Kawaminami 未来を拓け！輝く子どもの活動フォーラムの開催 	<p>学校教育 学校教育 文化スポーツ 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育</p>
<p>4 健やかな体を育む教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 立腰指導の徹底や体力向上プランの計画的・継続的な実践 ○ 体育・保健体育の学習指導の充実 ○ 食育（心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日）の推進 ○ 安全、安心な学校給食の実施と衛生管理の徹底 ○ 給食費の公会計化の検討 ○ 薬物乱用防止教育、性教育等の実施による健康教育の推進 ◎ 防犯・防災教室等の実施による安全教育の推進（危険予知・回避能力の育成） 	<p>学校教育 学校教育 学校給食 学校給食 学校給食 学校給食 学校給食 学校教育</p>
<p>5 共生社会を目指す特別支援教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学相談の実施 ○ 教育支援委員会の開催 ○ 特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施 	<p>学校教育 学校教育 学校教育</p>
<p>6 人権が尊重される社会を目指す教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 一人一人を大切にす言葉遣いの励行 ○ 人権教育に係る研修の充実 	<p>学校教育 学校教育</p>
<p>7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の効果的な活用促進と情報モラル教育の推進 ○ 外国語指導助手（ALT）の効果的な活用促進 	<p>学校教育 学校教育</p>

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実 ○ 川南の記念日等（リ・ボンデー、県民一斉「消毒の日」等）を利用した活動の啓発 ○ 学校行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進 ○ 三大開拓地交流事業の推進 	文化スポーツ 学校教育 学校教育 生涯学習 文化スポーツ 生涯学習 学校教育
	2 地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進 	生涯学習
	3 キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 核となる体験活動を位置付けた多様な学びによるキャリア教育の推進 ◎ 地域学校協働本部の活用によるキャリア教育の推進 ○ 職業講話、職場体験学習等の実施 	学校教育 学校教育 生涯学習 学校教育

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実	1 教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもとともに生きる教職員の育成 ○ 教職員研修の充実とOJTの推進 ◎ 川南町教育研究所の研修充実 ○ 町教育研究論文への積極的な応募 ○ 個人、同僚間、学校間の職員交流促進 ○ 町主催行事への主体的な参加を含む体験活動の推進 	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育
	2 学校における安全、安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した安全体制の整備・充実 ○ 安全、安心な学校施設の整備 	学校教育 教育施設
	3 学校の教育環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育環境の整備・充実 ○ 川南町育英会資金の貸与等による修学支援の充実 ◎ 学校規模適正化の継続的な検討 	学校教育 学校教育 学校教育

6 令和元年度 教育課事業計画

事業名等	内容
教育に関する町民意識の醸成 (啓発活動)	教育に関する広報・情報提供等を通して、子どもの教育や地域社会全体の教育力の向上に向けた、町民意識の醸成を図る。
ホームページ開設学校数 町報川南への掲載回数	H25年度 全学校開設済み H28年度 1回 H29年度 0回 H30年度 0回 R元年度(目標) 2回
Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業 (学校支援活動、人材バンク等) の拡充	豊かな教育資源や人材をもつ地域が、多方面から学校の児童生徒の教育活動を支える仕組みを構築することで、児童生徒に社会を実感させるとともに、地域づくりと活力あるコミュニティの形成に寄与する。
教育資源活用プラン ネットワーク研修会	H28年度10課等 H29年度10課等 H30年度10課等 R元年度(目標)10課等 H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度(目標) 1回
地域学校協働活動推進員の配置と 学校運営協議会との連携強化	地域学校協働活動推進員を配置し、学校運営協議会との連携を強化することにより、地域住民等のボランティアによる支援活動の充実を図り、地域学校協働活動を推進する。
放課後子どもプラン運営委員会の 設置及び運営	放課後子ども教室と放課後児童クラブの在り方や適切な運営に関して、様々な見地から助言を受ける。
開催回数	H28年度 1回 H29年度 2回 H30年度 2回 R元年度(目標) 2回
「早寝・早起き・朝ご飯」、「家 読、お手伝い」、「笑顔で あいさ つ・声かけ運動!」、「ノーメディア デー(アワー)」の推進	地域社会の連帯感を強め、思いやりの心を醸成するとともに、豊かな人間関係を育み、明るく安全で住みよい地域づくりを進めていくために、「大人も 子どもも『あいさつ名人』笑顔で あいさつ・声かけ運動」等を推進する。
お知らせ「かわみなみ」への掲載回数	H28年度 1回 H29年度 2回 H30年度 1回 R元年度(目標) 2回
家庭教育学級の充実	保護者が家庭で子どもを教育する心構えや子どもへの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の共通の問題を計画的かつ継続して学習できる場となるように内容等の充実を図る。
実施回数(町内7校の総数) 参加者数(町内7校の総数)	H29年度 59回 H30年度 60回 R元年度(目標) 70回 H29年度 1,511人 H30年度 1,690人 R元年度(目標) 2,000人
学校からの情報発信の充実	ホームページ等を活用したり、オープンスクールを実施したりすることにより、日常的に学校の情報を提供し、保護者や地域住民との相互理解を図る。
ホームページ開設学校数 オープンスクール実施学校数	H25年度 全学校開設済み H25年度より全学校実施
学校運営協議会の導入 (コミュニティ・スクール)	学校関係者評価委員会から学校運営協議会へと移行することにより、地域住民等との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進する。
参加者数 唐瀬原中学校区 12人 国光原中学校区 10人 開催回数 唐瀬原中学校区 H28年度10回 H29年度10回 H30年度10回 R元年度(目標)10回 国光原中学校区 H28年度 8回 H29年度 8回 H30年度 8回 R元年度(目標) 8回	
発達障がいや言語(ことば)の遅 れのある子どもへの支援	保健センターと関係の保育所や特別支援学校、町立小学校特別支援コーディネーター等がネットワークをもち、療育支援体制の整備を推進する。
ネットワーク会議の開催数	H29年度 2回 H30年度 4回 R元年度(目標) 4回
幼保小連携の推進	幼稚園や保育園と小学校との連携を推進することにより、円滑な学校生活への移行を図る。
幼保小連携(連絡)会議の実施回数(町内5校の総数)	R元年度(目標) 10回

事業名等	内容
各種学力テスト等の分析結果を生かした学習指導の改善	小・中学生の学力の実態や学習状況を把握・分析し、学校の実態に応じた学力向上の取組を推進する。
みやざき学力・学習状況調査結果で県平均以上学校数 CRT等実施校	H28年度 3校 H29年度 3校 H30年度 3校 R元年度(目標) 5校 H28年度 5校 H29年度 5校 H30年度 5校 R元年度(予定) 5回
児童生徒の言語活動の充実	知的活動(論理や思考)やコミュニケーション、感性・情緒の基盤といった言語の役割を踏まえながら、各教科等の目標を実現する手立てとして言語活動の充実を図る。
学習成果としての作文や書写、絵画などの新聞等への投稿促進	各教科等での学習した成果を新聞等に投稿することにより、児童生徒の学習意欲の高揚を図る。
宮日新聞掲載回数	H28年度 123回 H29年度 103回 H30年度 99回 R元年度(目標) 110回
今求められている指導力を高めるための研修等への参加促進	道徳の教科化や外国語科の新設など、新しい学習指導要領に係る研修等への積極的な参加を促進する。
冊子「かわみなみの教育力」・進級テスト等の積極的な活用と家庭と連携した家庭学習の充実	川南町教育研究所で作成した冊子やテスト等の積極的な活用を推進するとともに、各家庭と連携して家庭学習で取り組む具体的な内容を明らかにし、家庭学習の充実と習慣化を図る。
進級テスト1級達成者の割合 「家庭学習のすすめ」発行回数	H29年度 33% H30年度 39% R元年度(目標) 50% H28年度 1回 H29年度 0回 H30年度 1回 R元年度(目標) 1回
キャリア教育の視点からの学習指導の改善・充実	キャリア発達に必要な基礎的・汎用的能力の育成を意識した学習指導の改善・充実に努める。
学習指導の改善・充実のための学校訪問の充実	各学校における学校運営状況の把握や授業力向上のための校内研修の取組に対し、指導や情報の提供を行い、研修の充実と指導力向上を支援する。
計画訪問回数 視察訪問回数	H28年度 国光原中学校区3回 H29年度 唐瀬原中学校区4回 H30年度 国光原中学校区3回 R元年度(予定) 唐瀬原中学校区4回 H28年度 唐瀬原中学校区4回 H29年度 国光原中学校区3回 H30年度 唐瀬原中学校区4回 R元年度(予定) 国光原中学校区3回
外国語指導の充実のための外国語指導助手(ALT)との連携強化	外国語指導助手(ALT)と学校との連携を強化し、児童生徒の実態に応じた外国語指導の充実を図る。
英検(中学生)及び英検 Jr.(小6)の公費受験の実施	外部検定試験の公費受験を行うことで、英語への興味関心を高め児童生徒の英語力向上を図る。
英検3級以上の取得率(中3)	R元年度(目標) 30%
川南町ニューフロンティア教育研究会の充実(小中一貫教育、学校間連携の推進)	各学校が特色ある教育課程の編成を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「町民の教育的関心」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。
開催回数 全体会(総会・代表者会) 分科会	H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 2回 R元年度(予定) 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 3回 R元年度(予定) 3回
道徳の授業の充実と地域への授業公開	参観日等を通し、保護者や地域住民へ積極的に道徳の時間の授業公開を行い、家庭や地域と連携した道徳教育の充実を図る。
授業公開回数	H28年度 7回 6校 H29年度 6回 6校 H30年度 4回 4校 R元年度(目標) 7回 7校
奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進	児童生徒の発達の段階に即して、自然体験や奉仕活動やボランティア活動といった社会体験活動を計画的かつ効果的に実施し、生命や自然を大切に作る心や他人を思いやる優しさ、たくましさや協調性、奉仕の精神などの豊かな人間性、社会性、規範意識の育成を図る。
主催・共催事業	H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 3回 R元年度(目標) 4回

事業名等	内容
町立図書館と連携した読書活動の充実	学校図書館と町立図書館が連携し、読書に親しむ機会を増やすことで、豊かな情操等を育み、言葉の感性や表現力、想像力を豊かにし、思考力を高める教育を推進する。
学校への図書貸出冊数	H29年度 8154冊 H30年度 8301冊 R元年度(目標) 8500冊
生徒指導の3機能を生かした教育活動充実	児童生徒一人一人が、自分の考え方や感じ方をもちながら、それを人前で表現し、互いに受容するような学習指導への改善・充実に努める。
生徒指導体制及び教育相談体制の整備・充実	いじめや不登校、非行等問題行動などの未然防止や早期解決を図るとともに、子どもたちの悩み等に対応するため、専門家や地域人材を活用するなど、教育相談体制の充実を図る。
学校教育に係る教育相談の電話番号等の周知回数	H28年度 2回 H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度(目標) 2回
不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実(フロンティアルームの充実)	学校に登校できない児童生徒やその保護者に対して、教育相談や教育支援を行う。
利用児童生徒数	H28年度 4人(町内不登校児童数 12人) H29年度 6人(町内不登校児童数 11人) H30年度 4人(町内不登校児童数 9人) R元年度(目標) 2人
いじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり	いじめは決して許されないが、現実的にはどの子どもにも、どの学校にも起こり得るものであることを周知し、いじめ防止の徹底を図る。
いじめられたと回答した児童生徒数(いじめについてのアンケート)	H30年度 小学生164人 中学生38人 R元年度(目標) 小学生150人 中学生20人
児童会活動・生徒会活動の充実	児童会や生徒会の活動を活性化させるため、自主的な取組を支援する。
Team Kawaminami 未来を拓け!輝く子どもの活動フォーラムの開催	将来の川南を担う町内全小中学校の児童生徒代表が一堂に会し、学校での子どもの特色ある活動や取組についての発表と意見交換を行うことにより、学校生活の充実に生かすなど児童生徒の活動のさらなる活性化を図る。 年1回8月初旬
参加者数	H28年度 小学生145人 中学生340人 教職員 41人 保護者等53人 H29年度 小学生165人 中学生303人 教職員 37人 保護者等57人 H30年度 小学生166人 中学生298人 教職員 35人 保護者等51人 R元年度(予定) 小学生146人 中学生306人 教職員 38人 保護者等55人
立腰指導の徹底や体力向上プランの計画的・継続的な実践	体力づくりの推進を目指し、各学校において立腰指導や体力向上プランの計画的かつ継続的な実践に努める。
A・B判定児童生徒数の割合	H29年度 38.4% H30年度 36.8% R元年度(目標) 40.0%
体育・保健体育の学習指導の充実	各学校における体力・運動能力調査の結果を踏まえ、体育、保健体育の学習指導の充実を図る。
食育(心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日)の推進	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身を育むための基礎を培うため、家庭や地域などと連携しながら、学校における食に関する指導の充実や地場産物の活用、「弁当の日」の推進に取り組む。
弁当の日実施校	H28年度 5校 各2回、2校 各3回 H29年度 5校 各2回、2校 各3回 H30年度 5校 各2回、2校 各3回 R元年度(目標) 7校 各2回
浜うどん トロン汁 食に関するT・T授業	H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 4回 R元年度(目標) 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 2回 R元年度(目標) 3回 H28年度 20回 H29年度 29回 H30年度 23回 R元年度(目標) 25回
給食費の公会計化の検討	学校給食費徴収・管理業務の実施主体を学校から町へ移管するため、給食費会計の公会計化を検討する。

事業名等	内容
安全、安心な学校給食の実施と衛生管理の徹底	栄養教諭等を中核とした学校、家庭、地域の連携による食に関する指導の推進体制の整備に努めるとともに、食物アレルギー対策など安全、安心な学校給食の実施に取り組む。
食物アレルギー対応マニュアルの整備 児童生徒が献立どおり給食を食べられる日数の割合	H28年度作成 平成29年度運用開始 H29年度100% H30年度100% R元年度(目標)100%
薬物乱用防止教室、性教育等の実施による健康教育の推進	身近な生活に潜む薬物乱用、感染症の問題など、新たな健康課題にも対応しながら健康教育の推進を図る。
薬物乱用防止教室の実施校 性教育の授業の実施校	H28年度 6校 H29年度 5校 H30年度 6校 R元年度(目標)7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度 7校 R元年度(目標)7校
防犯・防災教室等の実施による安全教育の推進(危険予知・回避能力の育成)	安全に関して適切に判断する力や実践的な態度を育成するために、地域安全マップづくりや警察や消防等の専門家を活用した防犯・防災教室等の実施など効果的な取組に努め、生命尊重を基盤とした意図的かつ計画的な安全教育の推進に努める。
防犯教室の実施校 防災教室の実施校	H28年度 4校 H29年度 4校 H30年度 4校 R元年度(目標)5校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度 7校 R元年度(目標)7校
就学相談の実施	保育所等を対象とした理解啓発活動の推進により、乳幼児期からの適切な支援や早期教育相談の充実を図り、就学移行期における適切な就学相談体制の確立に取り組むとともに、小・中学校における個別の教育支援計画等の活用を図り、関係機関と連携した支援体制の整備や支援の充実に努める。
開催回数	H28年度 1回 参加幼児数 18人 H29年度 1回 参加幼児数 21人 H30年度 1回 参加幼児数 21人 R元年度(目標) 1回 参加幼児数 25人
教育支援委員会の実施	特別な支援が必要となる新就学児及び町立小中学校に就学中の児童生徒について、各校長及び特別支援コーディネーター、外部有識者等で構成し、必要な支援について協議を行い、教育委員会からの諮問に対して答申する。
開催回数	H28年度 2回 H29年度 2回 H30年度 2回 R元年度(目標)2回
特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施	多様な教育的ニーズに対応した専門研修プログラムの開発により、障がいの重度・重複化、多様化に対応できる特別支援教育担当教員の指導力の向上や、発達障がいに対応できる小・中学校の教員の養成に努めるとともに、特別支援教育の中心的役割を担う特別支援教育コーディネーターの専門性及び資質の向上を図る。
研修開催回数	H28年度 1回 H29年度 2回 H30年度 2回 R元年度(目標)2回
一人一人を大切にす言葉遣いの励行	全教育活動を通して自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるなどの人権感覚を育成するために、児童生徒の発達の段階や学校、地域等の実態を踏まえた学校としての人権教育の目標の設定や全体計画等の策定を行い、学校間の連携を図りながら校内推進体制の確立と充実に努めるとともに、取組の点検、評価を行う。また、具体的な取組の一つとして、言葉遣いの指導を行う。
「人権が尊重されている学校になっている」と回答した児童生徒の割合	小学6年生 H29年度 88% H30年度 93% R元年度(目標)95% 中学3年生 H29年度 76% H30年度 86% R元年度(目標)90%
人権教育に係る研修の充実	教職員自らの人権感覚の高揚と教職員の人権教育に関する専門的指導力の向上を図るために、参加体験型学習等の校内外研修に積極的に取り組み、人権尊重の精神が学校・学級全体にみながる教育基盤の整備に努める。
各学校で実施された研修回数	H29年度 11回 H30年度 12回 R元年度(目標)14回

事業名等	内 容
I C T機器の効果的な活用促進と情報モラル教育の推進 (I C Tの整備)	情報通信技術 (I C T) の活用や情報モラルに関する教育等を通して、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、教員のI C T活用指導力の向上や校務の情報化を図るなど、学校における教育の情報化を推進する。
コンピュータ 教職員配置数 H 2 7年度 9 7. 0 % 児童生徒用数 H 2 8年度 2 1 8台	H 2 8年度より 1 0 0 % H 2 9年度 2 1 8台 H 3 0年度 2 1 8台 R元年度 (目標) 2 1 8台
外国語指導助手の配置と効果的な活用促進	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際的な視野で考える力の育成、コミュニケーション能力の向上など、国際化に対応した教育を推進する。夏季休業中等の保育所等での活用も推進する。
授業回数 H 2 8年度 1 8 5回 H 2 9年度 1 8 8回 H 3 0年度 3 0 8回 R元年度 (目標) 3 6 0回	
開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実	川南における自然、環境、歴史、伝統 (文化、芸能)、産業、生活 (料理、行事)、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。
活用した学校数 H 2 8年度 7校 1 2 0回 H 2 9年度 7校 1 2 0回 H 3 0年度 7校 1 2 0回 R元年度 (目標) 7校 1 2 0回 活用した団体数 H 2 8年度 1 0団体 H 2 9年度 1 0団体 H 3 0年度 1 0団体 R元年度 (目標) 1 0団体	
川南の記念日等 (リ・ボンデー、県民一斉「消毒の日」等) を利用した活動の啓発	2月11日の「町制施行記念日」や7月1日の「リ・ボンデー」、毎月20日県で取り組む「県内一斉消毒の日」等の意義について理解し、感謝と生活に生かすことができる態度を育成する。
活用した学校数 H 2 7年度 0校 0回 H 2 8年度 1校 1回 H 2 9年度 1校 1回 H 3 0年度 1校 1回 R元年度 (目標) 2校 2回	
学校行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進	川南における自然、環境、歴史、伝統 (文化、芸能)、産業、生活 (料理、行事)、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。
運動会等で伝統芸能を発表した学校数 H 2 8年度 7校 H 2 9年度 7校 H 3 0年度 7校 R元年度 (目標) 7校	
三大開拓地交流事業の推進	日本三大開拓地間の児童生徒の交流を促進することで、先人の残した業績を知り、地元への愛着とこれから町内外へ社会的貢献をしていこうとする態度を育成する。
参加人数 H 2 8年度 2 0人 H 2 9年度 2 0人 H 3 0年度 2 1人 R元年度 (予定) 2 0人	
子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進	子ども会、ボランティア活動、世代を超えた交流活動などの情報提供を行い、地域活動への子どもたちの積極的な参画を図り、地域のよさや課題にふれ、地域の一員として地域の課題解決に取り組む意識を高める。
子ども会加盟児童生徒数 H 2 7年度 7 1 1人 H 2 8年度 6 6 1人 H 2 9年度 6 5 0人 H 3 0年度 6 3 5人 R元年度 (目標) 6 3 0人	
核となる体験活動を位置付けた多様な学びによるキャリア教育の推進	各学校におけるキャリア教育の年間指導計画の見直しを図るとともに、児童生徒の発達段階に配慮しながら、核となる体験活動を位置付けた多様な学びによる取組を推進する。

事業名等	内容
地域学校協働本部の活用によるキャリア教育の推進	地域学校協働本部の活用を図り、地域の企業等との連携を推進し、実践的かつ体験的なキャリア教育の充実に取り組む。また、社会教育関係団体や企業、NPO法人、文化団体等の教育活動への参画を促すとともに、団体相互のネットワークの構築を図り、「子どもの夢や希望を育む」環境づくりを推進する。
キャリア教育を研究主題とする学校数 H27年度 1校 H28年度 1校 H29年度 1校 ※H30年度より全校で「学力向上」を主題 企業等と連携した学校数 H27年度 7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年 7校 R元年度(目標) 7校	
職業講話、職場体験学習等の実施	各学校でのキャリア教育を推進するために、職業講話、職場体験学習など具体的な活動の実施に努める。
実施回数 H29年度 6校6回(延べ) H30年度 7校16回(延べ) R元年度(目標) 7校20回(延べ)	
専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもたちとともに生きる教職員の育成	教職員評価制度における管理職と職員とのミーティングやフィードバックの充実を図るとともに、評価結果を積極的に活用することにより、人材育成を推進する。
教職員研修の充実とOJTの推進	教職員の資質向上を図るため、教育委員会が実施する体系的かつ計画的な研修の充実と努めるとともに、各学校のニーズに応じた校内研修等のサポートや教育情報の提供を積極的に実施する。
初任者研修 H28年度4回 H29年度0回 H30年度 4回 R元年度(予定) 4回(初期研修) 10年経過研修 H28年度1回 H29年度1回 H30年度 0回 R元年度(予定) 0回(対象者なし) 町内視察研修 H29年度1回 H30年度1回 R元年度(予定) 1回	
川南町教育研究所の研修充実	教職員の資質の向上を目的に川南町学校教育研究所を設置、運営し、教職員が個人研究や共同研究を行える環境づくりを推進する。
研究員数 H26年度 7人(各学校1人) H27年度 13人(各学校2人) H28年度 14人(各学校2人) H29年度 14人(各学校2人) H30年度 10人 R元年度(予定) 10人	
町教育研究論文への積極的な応募	未来を拓く確かな力をつける教育の創造を目指して、川南町立小・中学校における指導上における諸問題の解明と教職員のさらなる指導力の向上に資するため教育研究論文を募集する。
応募者数 H28年度 19編 H29年度 15編 H30年度 13編 R元年度(目標) 20編	
個人、同僚間、学校間の職員交流促進	スーパーティーチャアの授業公開等への積極的な参加や校内・外におけるOJTの推進、校種の異なるTT授業の実施などにより、教職員の資質向上を図る。
STの授業公開への参加者数 異校種でのTT授業実施回数	H30年度 5校 5人(延べ) R元年度(目標) 7校 10人(延べ) H30年度 0校 0回(延べ) R元年度(目標) 4校 4回(延べ)
町主催行事への主体的な参加を含む体験活動の推進	地域への理解を深め、信頼される教職員を目指すため、町主催で行われるスポーツイベントや各種行事、ボランティア活動等への積極的な参加を推進する。
地域と連携した安全体制の整備・充実	「自らの危機を予測し、回避する能力を高める」安全教育を小中9年間を通して、発達段階に応じて継続的に推進する。
避難訓練実施学校数 地域における避難訓練参加(通浜地区)	H27年度 7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度 7校 R元年度(目標) 7校 H27年度 1回 H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度(目標) 2回

事業名等	内容
安全、安心な学校施設の整備	既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、快適な教育環境を整え、学習意欲の向上を目指す。
補修等工事	H28年度 工事44か所(小学校29、中学校15) H29年度 工事89か所(小学校51、中学校38) H30年度 工事93か所(小学校63、中学校30) R元年度(予定) 工事70か所(小学校50、中学校20)
教育環境の整備・充実	既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、快適な教育環境を整え、学習意欲の向上を目指す。
川南町育英会資金の貸与等による修学支援の充実	向学心に富みながら経済的理由により修学が困難な生徒に対する支援として、川南町育英会資金の貸与を勧める。
貸与者数	H28年度 44人 H29年度 44人 H30年度 42人 R元年度(目標) 40人
学校規模適正化の継続的な検討	今後の少子化の進展を踏まえ、町立小・中学校の在り方について、座談会やアンケート等を行い、方向性を協議する。
座談会開催回数(参加者数) アンケート実施回数	H30年度(目標) ※学校規模適正化審議会の設置 H30年度(目標) ※学校再編検討委員会の設置
広報紙等による情報の発信	学習者が必要とする様々な学習情報をいつでもどこでも入手でき、学習に参加できるように努めるとともに、個人が学習したことにより得られた経験や知識等が社会で発揮できるような体制を整備する。
発行回数	H28年度 12回 H29年度 12回 H30年度 12回 R元年度(目標) 12回
人材バンクの整備・充実	多様化する町民の学習ニーズに応え、町民が必要とする生涯学習に関する情報を広くかつ迅速に入手することができるように「人材バンク」等の充実を中心とした情報提供の充実に努め、町民の生涯学習を支援する。
登録数	H27年度 184事業所等 H28年度 201事業所等 H29年度 192事業所等 H30年度 221事業所等 R元年度(目標) 230事業所等
各ライフステージでの学習・発表の場の設定	地域の社会教育施設等において、各ライフステージにおける学習活動の支援の充実を図るとともに、個人が学習したことにより得られた経験や知識等が社会で発揮できるよう学びを生かす場の充実に努める。
各地区高齢者教室の開催(町内高齢者)	高齢者社会を健やかに生きる生活技術の習得を図る。 健康教育、人権教育、交通安全教育、消費生活の心得
開催回数 参加者延べ人数	H28年度 39回 H29年度 39回 H30年度 39回 R元年度(目標) 39回 H28年度 1206人 H29年度 1146人 H30年度 1220人 R元年度(目標) 1230人
山茶花ふれあい学園の開催(概ね60歳以上)	多様化・高度化する社会環境や生活環境に対応した高齢者の学習意欲に応えるため、生きがいを求め幅広い分野について学習活動を行うとともに、地域のリーダー養成を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H28年度 23回 H29年度 23回 H30年度 23回 R元年度(目標) 23回 H28年度 339人 H29年度 309人 H30年度 350人 R元年度(目標) 370人
女性講座(町内女性)	男女の意識改革、男女共同参画社会づくりのため、生活課題や社会課題に関する学習の機会を提供することにより、女性の連帯を強めるとともに資質の向上を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H28年度 2回 H29年度 2回 H30年度 2回 R元年度(目標) 2回 H28年度 122人 H29年度 115人 H30年度 117人 R元年度(目標) 115人

事業名等	内容			
成人式の開催	成人となったことを祝い励ますとともに、厳粛な式典の参加を通して、社会人としてのマナーを学ぶ機会として成人式典を開催する。1月3日(サンA川南文化ホール)			
参加者数 H28年度 158人 H29年度 153人 H30年度 146人 R元年度(目標) 145人				
生涯学習講座 (一般町民)	町民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習の機会を提供するため、通年及び長期又は短期の学習講座を開設する。			
開設講座数 開催回数 参加者人数	H28年度 3講座 H28年度各61回 H28年度 47人	H29年度 3講座 H29年度 47回 H29年度 49人	H30年度 7講座 H30年度 21回 H30年度 64人	R元年度(目標) 7講座 R元年度(目標) 21回 R元年度(目標) 70人
生涯学習大会の開催	個人や団体及び地域・学校等で取り組んだ学習や事業の実践報告、作品展示、講演会等を行うことにより、町民の生涯学習への関心を高めるとともに実践化への意欲を喚起し、生涯学習の振興と充実を図る。			
発表参加人数 参加者数	H28年度 14人 H28年度 404人	H29年度 48人 H29年度 467人	H30年度 11人 H30年度 459人	R元年度(目標) 10人 R元年度(目標) 460人
放課後児童クラブの充実	児童福祉法の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたち(放課後児童)に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。			
年間参加者延べ人数 H27年度 16,600人 H28年度 27,381人 H29年度 32,656人 H30年度 36,825人 R元年度(目標) 30,000人				
放課後子ども教室推進事業 (元気っ子ども教室) (小学生3年生以上)	地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行う。特に郷土愛を育む活動(農地活性化プロジェクト参加や各地区の歴史に触れる等)に努めている。			
開催回数	H28年度 37回 H29年度 38回 H30年度 38回 R元年度(目標) 38回	年間参加者延べ人数 2203人 年間参加者延べ人数 2181人 年間参加者延べ人数 2292人 年間参加者延べ人数 2200人		
ジュニアリーダーの育成 (元気っ子サークル)	体験活動を通じ、人間としての「思いやりの心」や、「生きる力」を養い、リーダーとしての資質や能力を高める。			
開催回数 H28年度 11回 H29年度 24回 H30年度 13回 R元年度(目標) 24回				
社会教育関係団体との連携強化	県と連携し、社会教育関係事業に関係団体等の参画を促すとともに、指導者研修の充実や関係団体等とのネットワークの構築により、社会教育関係団体との連携強化に努める。			
町PTA連絡協議会との連携	町内各学校のPTAで組織する町PTA連絡協議会に対して、適切な助言や支援を行う。			
開催回数 H28年度 9回 H29年度 8回 H30年度 6回 R元年度(目標) 6回				
青少年指導者の育成	健全な青少年を育成するために、研修会等を通じて町内の青少年を育成する指導者等を育成する。			
研修会回数 町内巡回補導	H28年度 0回 H28年度 3回	H29年度 1回 H29年度 3回	H30年度 1回 H30年度 3回	R元年度(目標) 1回 R元年度(目標) 3回
スポーツ少年団、各種スポーツ団体の活動の充実及び連携推進	スポーツ少年団や各種スポーツ団体の活動の充実及び連携を推進することで、次代を担う子どもたちの体力・運動能力の向上を図るとともに、成人のスポーツ実施率を上げ、総合的に生涯スポーツの振興を図る。			

事業名等	内容
スポーツ少年団入団式の開催	年度初めにスポーツ少年団員が集い入団式を行うことにより、少年団員としての自覚をもち、決意を新たにす場とする。
参加団体数 参加者数	H28年度 21団体 H29年度 20団体 H30年度 19団体 R元年度(目標) 19団体 H28年度 435人 H29年度 453人 H30年度 418人 R元年度(目標) 420人
スポーツ少年団指導者講習会等各種研修会の開催	スポーツ団体、体育・レクリエーション指導者を対象に各種研修会に派遣するとともに実技研修等を行い指導者としての資質の向上を図り、生涯スポーツの推進と充実を図る。
開催回数	H28年度 5回 H29年度 5回 H30年度 5回 R元年度(目標) 5回
スポーツ少年団交流大会の開催	スポーツ少年団活動の活性化を促進し、団相互の交流と親睦を図るとともに、心身ともに健全な青少年育成を目的に開催する。
開催回数 参加者数	H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度(目標) 1回 H28年度 200人 H29年度 165人 H30年度 178人 R元年度(目標) 180人
各種スポーツ団体の育成及び活動の推進(スポーツ団体活性化事業)	スポーツ団体への指導助言及び財政的支援を行い、スポーツの振興とスポーツ団体の発展・活性化を図る。
町内のスポーツ団体数	H28年度 40団体 H29年度 40団体 H30年度 39団体 R元年度(目標) 39団体
スポーツ推進委員会の開催	地域の生涯スポーツの普及のために、学識経験者やスポーツ経験者等からなる推進委員会を設置し、多方面から意見を求め、本町のスポーツ振興施策に生かす。
開催回数	H28年度 12回 H29年度 12回 H30年度 12回 R元年度(目標) 12回
スポーツ教室(全町民)	健康増進、体力向上、競技力向上を図るとともに、スポーツの振興と生涯スポーツの推進を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H28年度 11回 H29年度 36回 H30年度 30回 R元年度(目標) 35回 H28年度 231人 H29年度 749人 H30年度 539人 R元年度(目標) 630人
町民バレーボール大会(全町民)	健康増進と体力向上を図るとともに、世代間の交流親睦を深め町民相互の連帯感を育み、地域の活性化を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度(目標) 1回 H28年度 300人 H29年度 322人 H30年度 281人 R元年度(目標) 290人
町民スポーツ祭(町民体育大会)の開催	オリンピック開催年に町民が一堂に会し、スポーツの振興、町民の元気、魅力、各地域の地域力を発信する。
開催回数 参加者延べ人数	H24年度 1回 H28年度 1回 R2年度(目標) 1回 H24年度 1200人 H28年度 1682人 R2年度(目標) 1700人
総合型地域スポーツクラブの活動支援	年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、より多くの町民のニーズに応じた活動が行える総合型地域スポーツクラブの充実を図り、多くの住民が参加する環境づくりを行う。
会員数	H28年度 108人 H29年度 117人 H30年度 106人 R元年度(目標) 110人

事業名等	内容
ロードレース大会 i nかわみなみの充実	ランニング愛好者等の健康と体力増進、スポーツイベントを通じた交流の輪の広がりによる地域活性化を図る。
参加者数	H28年度 986人 H29年度 925人 H30年度 753人 R元年度(目標)900人
各種スポーツ施設の管理、利用者間の調整	スポーツ施設の利便性の向上に努めるとともに、より多くの町民が様々なスポーツで利用できるよう施設利用の調整と施設の充実を図る。
利用者数	H27年度 79467人 H28年度 99746人 H29年度 88095人 H30年度 90230人 R元年度(目標)95000人
各種スポーツ施設の整備	既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、スポーツに適した環境を整え、より多くの町民が利用できるよう施設の充実を目指す。
補修等工事	H30年度 工事 8か所 ※工事及び10万円以上の修繕 R元年度(予定) 工事 5か所
文化連盟の活動支援	文化連盟の活動を支援することにより、町民が文化に親しむ機会を充実させるとともに、町民の文化活動を支える環境の整備に努める。
文化財保護審議会の開催	町民の文化活動をより一層活性化するため、学識経験者などからなる委員会を開催し、意見を反映させることで、教育機関、企業等と行政とが相互に連携、協働できる体制の整備に努める。
開催回数	H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 3回 R元年度(目標) 3回
文化財の保護活動の推進・啓発	長い歴史と豊かな風土に培われ守り伝えられた有形、無形の文化財を、大切に保護、継承し、積極的に活用する環境づくりを推進する。
開催回数	H28年度 44回 H29年度 44回 H30年度 44回 R元年度(目標) 44回
文化財保護の啓発(文化財パンフレットの活用)	本町の様々な文化資源の魅力について町民が理解を深め、活用につなげられるよう、文化資源の活用や情報発信に取り組む。
フェイスブック掲載	H28年度 8回 H29年度 4回 H30年度 3回 R元年度(目標) 8回
郷土芸能の伝承活動の充実(通浜三尺棒踊り、登り口奴踊り、沓袋百萬遍、川南盆踊り、唐瀬子ども神楽)	これまでに町民が培ってきた生活に根ざした文化や地域の伝統文化を風化させることなく、確実に次世代に継承するため、子どもたちに文化を伝える機会の提供や、地域に残る文化の保存に努める。
郷土芸能の伝承活動に取り組む学校数	H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度 7校 R元年度(目標) 7校
国民文化祭の開催準備	町民の文化に対する意識の向上及び文化財に対する理解と関心を深めるために、平成32年度に開催予定の「国民文化祭」の開催準備を進める。
図書館、文化ホールの管理	文化に係る各分野における鑑賞、学習、交流、連携など、文化を育む拠点としての機能の充実を図り、町民にとってより身近で活用しやすい施設づくりに努める。(指定管理者により実施)
図書館利用者数	H27年度 74401人 H28年度 73200人 H29年度 70832人 H30年度 66382人 R元年度(目標) 70000人
文化ホール利用者数	H27年度 25749人 H28年度 25281人 H29年度 26305人 H30年度 22313人 R元年度(目標) 24000人

事業名等	内 容
読書推進活動（図書館の貸出業務等の充実）の促進	生涯学習の拠点施設の一つとして、町民の多様化、高度化する学習・情報ニーズに対応するため、図書資料の収集、整理・保存に努め、利用促進を図る。（指定管理者により実施）
貸出し冊数	H27年度 67258冊 H28年度 74536冊 H29年度 81652冊 H30年度 89402冊 R元年度（目標）92000冊
貸出し延べ人数	H27年度 14825人 H28年度 17281人 H29年度 18493人 H30年度 16528人 R元年度（目標）17000人
読書感想文・画コンクール（小・中学生）	小・中学生を対象に、読書感想文・画コンクールを行い、読書意欲の喚起を図る。（指定管理者により実施）
応募者数	H28年度 138人 H29年度 149人 H30年度 182人 R元年度（目標）190人
絵本の読み聞かせ（幼児及び低学年）	子どもの情操と想像力を豊かにするとともに、親子のふれあいを深める絵本の読み聞かせを実施する。（指定管理者により実施）
開催回数	H28年度 50回 H29年度 51回 H30年度 50回 R元年度（目標）50回
参加者延べ人数	H28年度 386人 H29年度 487人 H30年度 537人 R元年度（目標）560人
図書館まつり（町民全般）	子どもから大人まで楽しめる行事を企画し、（図書館を身近に感じてもらい）、読書推進と図書館利用の向上を図る。（指定管理者により実施）
開催回数	H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度（目標）1回
参加者延べ人数	H28年度 817人 H29年度 180人 H30年度 316人 R元年度（目標）350人
読み聞かせ講座（町民全般）	読書活動に関わるボランティアや幼児・児童を持つ保護者を対象に読書活動の支援者等の技術向上を図り、読み聞かせの普及を図る。（指定管理者により実施）
開催回数	H28年度 5回 H29年度 1回 H30年度 4回 R元年度（目標）5回
参加者延べ人数	H28年度 83人 H29年度 40人 H30年度 49人 R元年度（目標）60人
図書館協議会	町民の代表者である有識者等が、図書館運営や町民の読書推進に向けて協議する。（指定管理者により実施）
開催回数	H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度 3回 R元年度（目標）3回
文化意識向上の推進（文化ホール運営委員会）	町民の代表者である有識者等が、文化ホール運営や町民の文化面の充実に向けて協議する。（指定管理者により実施）
開催回数	H28年度 2回 H29年度 2回 H30年度 3回 R元年度（目標）2回
かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実（一般、学生、児童生徒）	町内外の合唱団の交流による音楽のまちづくり ・コンサート（8・3月） ・ミニコンサート（年2回） ・合唱団交流（年2回） ・合唱指導（小・中・高・一般）
サマーコンサート参加者数	H27年度 471人 H28年度 497人 H29年度 592人 H30年度 346人 R元年度（目標）500人
スプリングコンサート参加者数	H27年度 463人 H28年度 432人 H29年度 466人 H30年度 450人 R元年度（目標）500人

平成31年度（令和元年度）公立小・中学校の学級編制状況報告書

令和元年5月1日現在

学 校 名	学年別児童・生徒数及び学級数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
川南小学校	3	3	2	2	2	2	4	18
	74	61	70	68	72	62	23	430
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	23	32	29	25	32	31	7	179
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	15	22	23	16	21	26	5	128
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	14	16	12	11	18	18	4	93
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	15	13	10	13	12	10	2	75
小計	7	7	6	6	6	6	12	50
	141	144	144	133	155	147	41	905
唐瀬原中学校	3	3	2				3	11
	89	86	65				11	251
国光原中学校	2	2	2				2	8
	58	57	66				8	189
小計	5	5	4				5	19
	147	143	131				19	440
合計	12	12	10	6	6	6	17	69
	288	287	275	133	155	147	60	1345

令和2年度から令和4年度までの児童・生徒及び学級数増減見込み

令和2年度

小学校名	児童数及び学級数見込								中学校名	生徒数及び学級数見込				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別	計		1学年	2学年	3学年	特別	計
川南小学校	2	3	2	2	2	2	4	17	唐瀬原中学校	3	3	3	3	12
	59	74	61	70	68	72	19	423		92	89	86	12	279
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	国光原中学校	2	2	2	3	9
	23	23	32	29	25	32	4	168		55	58	57	12	182
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	合 計	5	5	5	6	21
	18	15	22	23	16	21	5	120		147	147	143	24	461
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	1	7						
	13	14	16	12	11	18	2	86						
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	12	15	13	10	13	12	2	77						
合 計	6	7	6	6	6	6	11	48						
	125	141	144	144	133	155	32	874						

令和3年度

小学校名	児童数及び学級数見込								中学校名	生徒数及び学級数見込				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別	計		1学年	2学年	3学年	特別	計
川南小学校	2	2	2	2	2	2	3	15	唐瀬原中学校	3	3	3	3	12
	48	59	74	61	70	68	16	396		94	92	89	15	290
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	国光原中学校	2	2	2	3	9
	21	23	23	32	29	25	3	156		61	55	58	11	185
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	合 計	5	5	5	6	21
	18	18	15	22	23	16	3	115		155	147	147	26	475
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	0	6						
	11	13	14	16	12	11	0	77						
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	10	12	15	13	10	13	2	75						
合 計	6	6	6	6	6	6	9	45						
	108	125	141	144	144	133	24	819						

令和4年度

小学校名	児童数及び学級数見込								中学校名	生徒数及び学級数見込				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別	計		1学年	2学年	3学年	特別	計
川南小学校	2	2	2	2	2	2	3	15	唐瀬原中学校	3	3	3	3	12
	58	48	59	74	61	70	11	381		93	94	92	14	293
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	国光原中学校	1	2	2	2	7
	21	21	23	23	32	29	3	152		40	61	55	8	164
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	合 計	4	5	5	5	19
	9	18	18	15	22	23	3	108		133	155	147	22	457
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	0	6						
	6	11	13	14	16	12	0	72						
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	8	10	12	15	13	10	2	70						
合 計	6	6	6	6	6	6	9	45						
	102	108	125	141	144	144	19	783						

令和元年度学校給食計画

1 学校給食共同調理場の役割について

児童生徒に安全・安心な給食を安定的に提供するため、学校給食共同調理場では、食の安全性に対して常に高い危機意識を持ち、各マニュアルに基づいた衛生管理の徹底を第一に管理運営をする。また、地場産物を活用した栄養バランスの取れた給食提供に努め、児童生徒の健やかな心身を育むとともに、食物アレルギーに対応した給食提供を進める。

さらに、栄養教諭・学校栄養職員の専門性をいかし、各学校と連携した食に関する指導を進め、望ましい食生活の実現を図る。

2 学校給食費

	1食あたりの単価	年間実施試算日数	月額食材費等分	月額光熱水費分	月額学校給食費	年額学校給食費総額
小学校	225円	194日	3,980円	20円	4,000円	44,000円
中学校	265円	190日	4,580円	20円	4,600円	50,600円

*年額学校給食費は、11月分

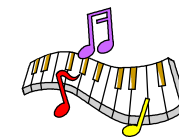
3 学校給食費会計予算

単位：円

歳入		歳出	
1 食費納入金	69,850,000	1 給食費	69,848,000
2 町支出金	2,200,000	光熱水費	334,000
3 財産収入	1,000	賄材料費	69,514,000
4 繰入金	1,000	2 川南町学校給食地産地消促進事業	2,230,000
5 繰越金	1,000	賄材料費	2,230,000
6 諸収入	26,000	3 積立金	1,000
計	72,079,000	計	72,079,000

4 職員配置

- ・ 教育課長 町職員 1人
- ・ 所長 町職員 1人
- ・ 栄養教諭 県職員 1人
- ・ 学校栄養職員 県職員 1人
- ・ 事務職員 パート職員 1人
- ・ 調理及び配送業務 委託 株式会社文化コーポレーション
開始 平成28年8月1日
終了 令和元年7月31日



1 目的

学校に登校できないお子さんや保護者の方に対して、教育相談や教育支援等を行います。

2 基本方針

- (1) 教育相談や学習指導等、一人一人に応じた適切な支援を行うことにより、学校生活への復帰を目指します。
- (2) 個別指導と集団における指導を行い、学校生活・社会生活に必要なマナーを体得し、自立を促し、社会性を育成していきます。
- (3) 学校及び保護者、関係機関と連携を図り、支援に努めるとともに、不登校の解消に関する調査研究を行います。

3 対象

川南町内の小・中学校に在籍し、学校への復帰を図ろうとするお子さん

- (1) 学校への登校が困難で、継続的または長期欠席のお子さん
- (2) 不安や心身の不調を訴える等、心因的に不安定な状況にあるお子さん
- (3) 自宅に引きこもり、保護者の方も不登校として認知しているお子さん
- (4) 特に生徒指導上の問題行動(暴力行為や不純異性交遊等)がないお子さん

4 指導員

- ・ フロンティアルーム指導員(1名)



5 指導・相談の概要

- (1) 指導内容
 - ア 教育相談による支援
 - イ 体験学習等による自発性の育成
 - ウ 一人一人に応じた登校意欲及び学習意欲の促進
 - エ 学習に関する支援
 - オ 保護者の方への教育相談及び助言
- (2) 指導時間
 - ・ 午前9時から正午まで
- (3) 面接、教育相談の時間
 - ・ 午後1時から午後3時まで
- (4) 実施曜日
 - 月曜日～金曜日(土日、祝日は除く)

6 開設期間

- ・ 平成31年4月1日～令和2年3月31日
(通室は学校の授業日に準じます。)

7 入室手続き

- ① お子さん、保護者の方と学校との話し合い
- ② フロンティアルーム指導員の面接
- ③ フロンティアルーム指導員から入室許可の連絡後、入室



8 基本的な一日の流れ

時刻	活動内容
9:00	学習タイム1
10:10	
10:30	リフレッシュタイム
11:30	学習タイム2
11:40	清掃
12:00	振り返りの時間
13:00	個別教育相談
15:00	

9 学習内容

- (1) 学習タイム
 - ア 自分の学力や進路を考えて学習計画を立て、自学自習に取り組みます。
 - イ 読書をしたり、奉仕活動やボランティア活動などの体験活動を行います。
 - (2) リフレッシュタイム
 - ア 公園内を散歩をしたり、図書館で本の選書を行ったりします。
- ※ 希望により、教育相談を行います。

10 その他

- (1) 所属学校と連携を密にして、指導の効果が上がるように努めます。
- (2) 関係機関と連携を図っていきます。
- (3) 必要に応じて、保護者の集いを実施します。



川南町生涯学習センター
(トレントロンドーム南側建物3階)

[連絡先]

フロンティアルーム(川南町生涯学習センター3階)

事務局

川南町教育委員会教育課
(川南町生涯学習センター2階)
川南町大字平田2386番地3
電話 27-8019
ファックス 27-1028

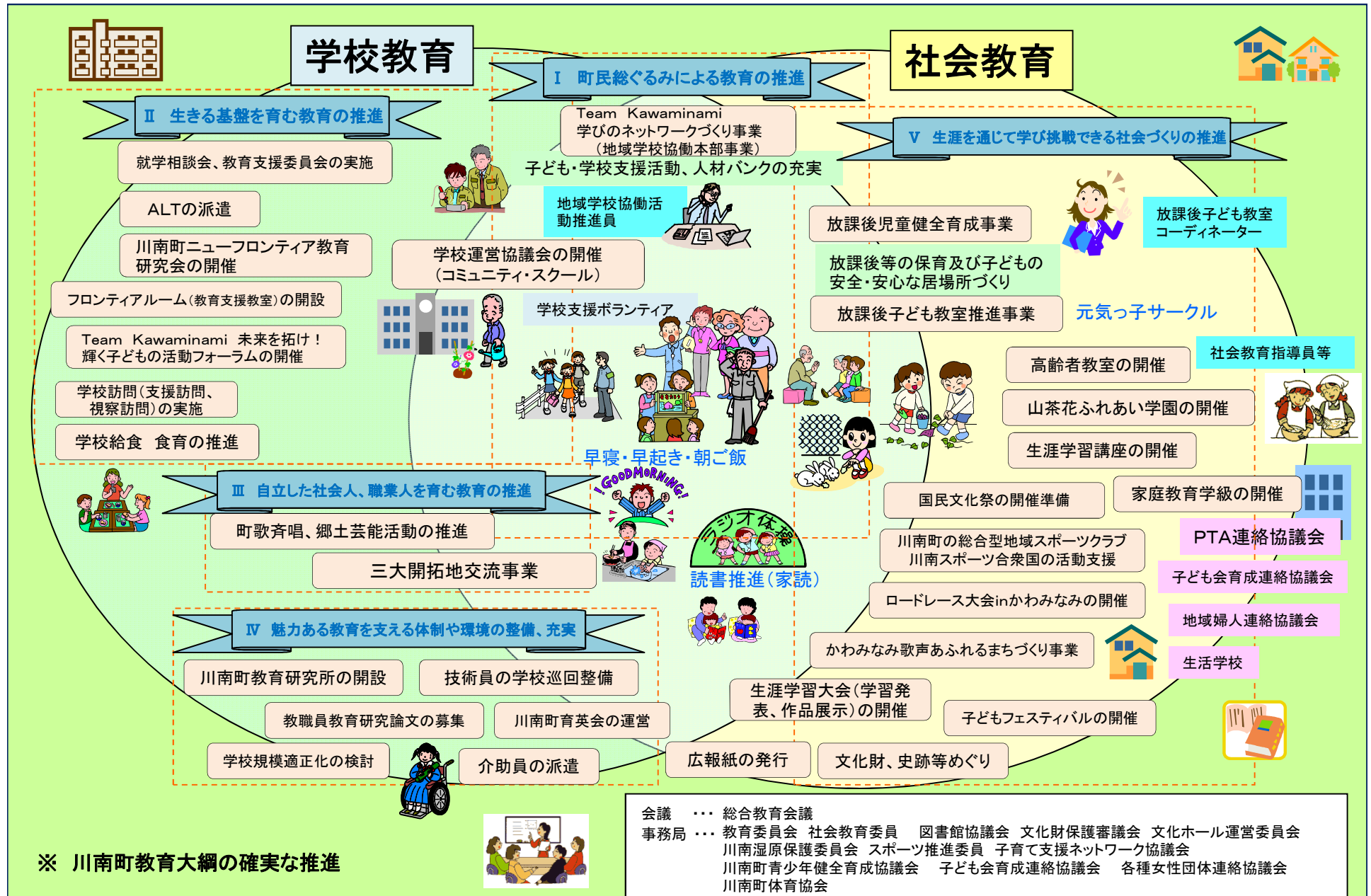


令和元年度ふるさと川南の教育「教育課主な施策等」

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

教育課

Team Kawaminami



令和元年度 川南町小・中学校校長会組織表

役 職 名	所 属 学 校	氏 名	備 考
会 長	山本小学校	小 野 雅 照	川南町校長会の代表で県校長会出会 川南町教育委員会との連絡調整 川南町校長会の運営
副 会 長	唐瀬原中学校	甲 斐 義 教	会長補佐 会長代行 会長と総合教育会議出席
書 記	通山小学校	松 岡 和 幸	川南町校長会研修会案内文発送 毎月1回定期開催予定 研修会の司会は輪番制
会 計	東小学校	田 辺 弘 美	県校長会納入会費徴収 川南町校長会懇親会世話 慶弔関係
研 修 部 長	本年度担当なし		校長会研修世話役 宮教研連

留 意 事 項

- 1 会長・副会長は、小学校5校，中学校2校の学校数を考慮して決定する。
- 2 川南町ニューフロンティア世話役は、校長会で決定する。
- 3 宮崎県校長会納入会費は、毎月会計校長が徴収する。校長会懇親会の企画運営等を行う。
- 4 平成31年度の東児湯校長会の割当役職
 - ・研修委員会：中学校 (宮 元 芳 幸 ※国光原中)
 - ・広報委員会 (松 岡 和 幸 ※通山小)
 - ・退職校長会 (小 野 雅 照 ※山本小)

令和元年度 川南町小・中学校教頭会組織表

会 長	栗野 慶一郎 (多賀小)	研 修 部 長	岩倉 徳生 (国光原中)
副 会 長	荻原 健弘 (川南小)	町P T A連絡協議会	須本 康仁 (山本小)
副 会 長	横山 博章 (唐瀬原中)	郡P T A連絡協議会	須本 康仁 (山本小)
会 計	県 ～ 須本 康仁 (山本小) 町 ～ 隈元 辰男 (通山小)		

令和元年度 川南町校長会各種委員会組織

委員会名等	氏名	学校	備考
校長会・会長	小野 雅照	山本小学校	
校長会・副会長	甲斐 義教	唐瀬原中学校	
校長会・書記	松岡 和幸	通山小学校	町校長会開催文書発送（各月）
校長会・会計	田辺 弘美	東小学校	県校長会，町校長会会費納入等
研修部長	本年度担当なし		校長会研修担当・宮教研連
川南町教育支援委員会委員長	宮元 芳幸	国光原中学校	NF特別支援教育部会長
川南町社会教育委員	松岡 和幸	通山小学校	
川南町PTA連絡協議会	輪 小野 雅照	山本小学校	輪番 川南小→通山小→東小→多賀小→山本小→唐中→国中→
川南町教頭会	甲斐 義教	唐瀬原中学校	副会長職を充てる
青少年健全育成協議会	小 小野 雅照	山本小学校	年2回の会議が開催される。
	中 甲斐 義教	唐瀬原中学校	
人権・同和教育	松岡 和幸	通山小学校	西都・児湯地区人権・同和教育研究大会実行委員
川南町総合教育会議	小 小野 雅照	山本小学校	会長・副会長が会議に出席する。
	中 甲斐 義教	唐瀬原中学校	
川南町男女共同参画審議会委員	草薙 良雄	川南小学校	川南小学校を充てる。
川南町給食指導研究会会長	草薙 良雄	川南小学校	共同調理場の関係で、川南小固定
川南地区共同実施推進会議会長	草薙 良雄	川南小学校	室長の所属する校長を充てる。
川南町こども・子育て審議会	小野 雅照	山本小学校	会長職を充てる。
川南町要保護児童対策協議会	小野 雅照	山本小学校	会長職を充てる。
川南町スポーツ合衆国	(小野 雅照)	(山本小学校)	オブザーバーとして参加する。
ロードレース大会inかわみなみ実行委員	甲斐 義教	唐瀬原中学校	町校長会を代表して参加する。
学校運営協議会 担当校	唐中 小野 雅照	山本小学校	輪番制を基本とするが、諸般の事情により、その都度検討する。
	國中 宮元 芳幸	国光原中学校	

令和元年度 ニューフロンティア教育研究会担当

会長	甲斐 伸明	多賀小学校	顧問	坂本 幹夫	町教育委員会教育長
副会長	小野 雅照	山本小学校	※NF副会長には町会長を充てる。 ※各主任会等の理事長には原則として、講師を充てないこととする。		
総務企画委員会	甲斐 伸明	多賀小学校	教務主任会	田辺 弘美	東小学校
唐中校区研究会	田辺 弘美	東小学校	音楽主任会	小野 雅照	山本小学校
國中校区研究会	宮元 芳幸	国光原中学校	図書主任会	甲斐 伸明	多賀小学校
知育部会	草薙 良雄	川南小学校	養護教諭部会	松岡 和幸	通山小学校
徳育部会	甲斐 義教	唐瀬原中学校	特別支援教育部会	宮元 芳幸	国光原中学校
体育部会	田辺 弘美	東小学校			

東児湯小・中学校役員関係（川南町担当分）

【研修委員会】	宮元 芳幸（国光原中学校）
【広報委員会】	松岡 和幸（通山小学校）
【退職校長会】	小野 雅照（山本小学校）

令和元年度学校医・学校歯科医及び薬剤師

学 校 名	内科医師	歯科医師	眼科医師	薬剤師
川南小学校	喜多保一郎	濱本 伸治	蟻塚 高生	森岡 栄一
通山小学校	糸井 仁			長船 克彦
東小学校				江上 郁代
多賀小学校	喜多保一郎			長船 克彦
山本小学校				森岡 栄一
唐瀬原中学校	糸井 仁	三浦 誠志	横山 裕美	
国光原中学校			長船 克彦	

喜多保一郎 電話 27-1711 川南町大字平田 2380
 糸井 仁 電話 27-0032 川南町大字平田 1888
 濱本 伸治 電話 27-4860 川南町大字平田 2372-30
 三浦 誠志 電話 27-6473 川南町大字川南 13593-1 (まこと歯科)
 蟻塚 高生 電話 23-2316 高鍋町大字北高鍋 785
 森岡 栄一 電話 27-0822 川南町大字平田 1402-76 (オレンジ調剤薬局)
 長船 克彦 電話 27-0170 川南町大字平田 2380-9 (トロン調剤薬局)
 江上 郁代 電話 21-3880 川南町大字川南 13681-5 (川南調剤薬局)
 横山 裕美 電話 21-3880 川南町大字川南 13681-5 (川南調剤薬局)

※ スクールカウンセラー
 中村 千穂 (唐瀬原中 月2回)
 日高 隆雄 (国光原中 月2回)

教育課事務分掌表

課長 大塚 祥一

事務内容	主務者	副主務者
1 学校の組織及び編制に関すること。 2 学校の教育課程及び学習指導に関すること。 3 教育行政に関する苦情及び相談に関すること。 4 県と学校との連絡調整に関すること。 5 学校以外の教育機関の組織に関すること。	教育対策監 肝付 正籍	課長 大塚 祥一
1 条例、規則その他例規に関すること。 2 教育委員会の会議に関すること。 3 教育委員会関係の叙位、叙勲及び褒章に関すること。 4 教育委員会の評価に関すること。 5 教育委員会と各課等との連絡調整に関すること。 6 他市町村の教育委員会との連絡調整に関すること。 7 職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。 8 教職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。	課長補佐 渡部 好文	課長 大塚 祥一

学校教育係

1 就学相談に関すること。 2 教育支援委員会に関すること。 3 学校運営協議会に関すること。 4 学校訪問に関すること。 5 学校事務共同実施に関すること。 6 学校行事の報告に関すること。	係長 林 義光	主事 平木奈菜美
1 通学区域に関すること。 2 区域外就学に関すること。 3 学校関係の統計及び調査に関すること。 4 児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 5 就学援助に関すること。 6 児童生徒及び教職員の健康管理に関すること。 7 教科書その他教材に関すること。 8 育英会事業に関すること。	主事 平木奈菜美	係長 林 義光

教育施設係

1 調理場を除く教育施設に係る工事又は委託の入札及び契約に関すること。 2 調理場を除く教育財産の取得又は処分に関すること。 3 教育財産台帳に関すること。 4 調理場を除く教育財産他所管施設の維持管理に関すること。 5 調理場を除く教育施設他所管施設の利用に関すること。	係長 佐藤 和俊	課長補佐 渡部 好文
1 学校環境整備に関すること。 2 その他教育委員会所管の施設及び教育委員会に補助執行された施設の環境整備に関すること。	専門技術員 久保田敏和 田原 憲浩	係長 佐藤 和俊

学校給食共同調理場

事務内容	主務者	副主務者
1 学校給食に関すること。 2 学校給食共同調理場の施設設備の管理に関すること。 3 学校給食共同調理場全般の運営に関すること。 4 学校給食共同調理場運営協議会に関すること。 5 学校給食会に関すること。 6 その他学校給食事務に関すること。	所長 石井 美貴	栄養教諭
1 学校給食の献立作成及び栄養管理に関すること。 2 学校給食の調理に関すること。 3 学校給食における食に関する指導助言及び啓発に関すること。	栄養教諭	所長 石井 美貴

生涯学習係

1 社会教育委員に関すること。 2 社会教育団体に関すること。 3 成人教育に関すること。 4 高齢者教育に関すること。 5 その他社会教育に関すること。	補佐兼係長 押川 明雄	主任主事 楠本 さき 主査 河野幾久子
1 放課後子ども教室に関すること。 2 放課後児童健全育成事業に関すること。	主任主事 楠本 さき	補佐兼係長 押川 明雄 主査 河野幾久子
1 青少年教育に関すること。 2 各種講座の開設及び学習機会の提供並びに講演会及び展示会の開催に関すること。 3 三大開拓地交流事業に関すること。 4 地域学校協働本部事業（人材バンク）に関すること。	主査 河野幾久子	補佐兼係長 押川 明雄 主任主事 楠本 さき

文化スポーツ係

1 文化ホール・図書館の指定管理に関すること。	補佐兼係長 押川 明雄	係長 三原 康宏
1 スポーツの普及促進に関すること。 2 文化振興計画に関すること。 3 文化団体の育成指導に関すること。 4 読書普及推進活動に関すること。	係長 三原 康宏	主任技師 徳田 敬太 主任主事 黒木裕一郎
1 スポーツ施設の利用促進に関すること。 2 スポーツ少年団に関すること。 3 総合型地域スポーツクラブに関すること。 4 スポーツ推進委員に関すること。 5 体育協会に関すること。	主任主事 黒木裕一郎	係長 三原 康宏 主任技師 徳田 敬太
1 文化財保護審議会に関すること。 2 文化財の保護及び維持管理並びに活用に関すること。 3 文化財の調査、研究及び発掘に関すること。	主任技師 徳田 敬太	係長 三原 康宏 主任主事 黒木裕一郎

学校経営方針概要及び職員配置



川南小学校



通山小学校



東小学校



多賀小学校



山本小学校



唐瀬原中学校



国光原中学校



川南町教育委員会



令和元年度 川南町立川南小学校 学校経営方針

川南町教育基本方針

ふるさと川南を愛し、未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

関係法令
新学習指導要領
県教育方針

人権教育
特別支援教育

グローバル化
AIの侵攻
新しい豊かさ
結果責任

コミュニケーション能力の育成
地域教育の推進
望ましい職業観
学ぶ目的意識

【学校の教育目標】

全力一心 「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」

〈子ども像〉

やさしい子
かしこい子
たくましい子

〈教職員像〉

子どもと共に考える教師
子どもと共に伸びる教師
子どもと共に実践する教師

小学校6年間を通して

■自分に誇りを
■友に誇りを
■学校・地域に誇りを
もつ児童の育成を図る。

〈学校像〉

美しい学校
伸びる学校
楽しい学校

〈家庭像〉

会話のある家庭
共に学ぶ家庭
明るく健康な家庭

【学校経営の基本方針】

～地域が維持・発展するから子どもがいる。子どもがいるから学校がある。学校があるから先生がいる。～

- 恵まれた教育環境を生かし、川南小ならではの特色ある教育活動を展開する。
- 学校・家庭・地域社会が連携・協働し、「地域と共に歩む学校づくり」を進める。
- 教職員一人一人が高いプロ意識をもって、生き生きと職務を全うする職場環境づくりに努める。

【身につけさせたい子どもの姿】

【学びづくり】

- 基礎学力をしっかりと身に付けた児童
- 身に付けた学力を、生活に生かす児童
- 自分に合った（必要な）学習習慣を身に付けた児童

【豊かな心づくり】

- 進んで元気なあいさつをする児童
- 人権感覚を身に付け、思いやりのある言動をとる児童
- 集団生活や社会のきまりを守る児童

【体づくり】

- 命の尊さを理解し、危機予知・回避能力を身に付けた児童
- 規則正しい生活リズムを身に付けた児童
- 健康を考えた食生活ができる児童
- 体力向上に努める児童

これら3つを、学校・家庭・地域間で目標を共有し、実施・達成していく。

下記のことを実践し、結果を公表します。

- ① 日々の授業等を通じて、確かな学力を身に付けさせます。
(授業研究、ICT機器の活用、学力分析)
- ② 家庭学習について各家庭と共通理解し、習慣化するように連携して指導に取り組みます。
(家庭学習の手引きの活用)
- ③ 学校図書館の充実、家庭読書の習慣化、読み聞かせボランティアの活用等により、読書活動を推進します。
(積極的な作品投稿)

- ④ 教育相談を充実させ、子ども達の悩みや心配ごとの早期発見・早期解決に努め、深刻ないじめを出さない学校づくりに努めます
- ⑤ 特別支援教育、人権教育の充実に努め、望ましい人間関係づくりに努めます。(授業公開、交流学习及びことばの教室の充実)
- ⑥ 全職員で共通理解・共通実践を行い、基本的な生活習慣を定着させます。(JRC活動、教児同行)

- ⑦ 防災教育を充実させ、自他の命を守る方法を身に付けさせます。
- ⑧ 家庭と連携しながら、望ましい生活リズムの定着に努めます。(早寝・早起き、朝ご飯)
- ⑨ 「体力向上プラン」に基づき、体育の時間の充実と外遊びの奨励により、体力の向上に努めます。(立腰指導)

- ⑩ 幼稚園・保育所、町内小・中学校と連携し、幼保・小連携、小・小連携、小中一貫教育(小・中連携)の推進に努め、12～15年間を見通した教育を展開します。
- ⑪ 地域の各種団体や企業、官公庁等と連携し、早期からのキャリア教育を推進します。(よのなか教室)
- ⑫ 情報を積極的に公開し、保護者や地域の方々と共に地域教育を推進します。(学校HP、学校だより等)

【コミュニティスクールの確立】

町・町教委等

学校運営協議会

地域社会教育団体等

職員名簿

No	職名	氏名	学年等	主任等		校務分掌
1	校長	草薙良雄				
2	教頭	荻原健弘		総務		
3	主幹教諭	黒木賢二	理科専科3年	教務主任	教育課程全般 小中連携 生涯学習 地域連携コーディネーター	教務部
4	教諭	千頭美子	1年1組	学年主任	図画工作科主任 掲示教育	学習指導部
5	教諭	徳丸晴香	1年2組		生活科主任 幼保小連携	研究部
6	講師	河野琴美	1年3組		体育主任	保体安全部
7	教諭	日高鶴世	2年1組	学年主任	算数主任・学力向上担当リーダー	研究部
8	教諭	宇治橋さおり	2年2組		図書館教育	学習指導部
9	講師	稲子田依子	2年3組		防災教育	保体安全部
10	教諭	小川由美	3年1組	学年主任	書写主任	生徒指導部
11	講師	松井広直	3年2組		図書館教育	学習指導部
12	教諭	増田由子	4年1組	学年主任	音楽科主任 福祉教育 教育相談	生徒指導部
13	教諭	福山亜紀	4年2組		特別活動主任	生徒指導部
14	教諭	河野治美	5年1組	学年主任	家庭科主任	保体安全部
15	教諭	川崎博道	5年2組	研究主任	社会科主任	研究部
16	教諭	松山紅	6年1組	学年主任	道徳主任	学習指導部
17	教諭	徳原宏樹	6年2組	生徒指導主事	総合的な学習主任 キャリア教育	生徒指導部
18	教諭	岩元誠一郎	ひまわり	特別支援教育コーディネーター	情報教育	学習指導部
19	講師	今井典子	たんぼぼ1組		校外生活指導	生徒指導部
20	教諭	寺尾佳恵	たんぼぼ2組		安全教育	保体安全部
21	講師	岩崎三恵	たんぼぼ3組	特別支援教育コーディネーター	環境教育	生徒指導部
22	教諭	須賀田和子	ことばの教室		人権教育 学籍・教科書	教務部
23	教諭	加藤夕紀子	外国語専科		国際理解教育 ※通山小兼務	6学年所属
24	教諭 (再任用)	西村和豊	理科専科4～6年		理科主任 環境(栽培) 視聴覚機器	生徒指導部
25	養護教諭	菅原環	保健室経営	保健主事	保健 衛生 健康 統計	保体安全部
26	栄養教諭	田中佳子	共同調理場在勤		給食主任 食育教育	保体安全部
27	事務主幹	二宮可奈子	学校事務	事務主査	事務全般 安全点検	事務部
28	講師	郡美智子	算数少人数		4・5年算数指導 Web活用推進	5学年所属
29	講師	中川由美子	音楽専科3～6年		主幹教諭マネジメント	3学年所属
30	講師	坂元香	初任研後補充			2学年所属
31	講師	河野薫	初任研後補充			4学年所属
32	技師	都原奈穂	共同調理場在勤		学校栄養職員	保体安全部
33	主事	本田知香	学校事務		事務全般	事務部
34	介助員	黒木富美子			ひまわり学級及び通常学級支援	1学年所属
35	介助員	内山田隆一			たんぼぼ1組及び通常学級支援	2学年所属
36	介助員	中武直美			たんぼぼ2組及び通常学級支援	3学年所属
37	介助員	上園久美子			たんぼぼ3組及び通常学級支援	5学年所属
38	町事務	大矢根裕子			給食費 町費 体育館借用等事務	事務部
39	町図書事務	綾部晴華			図書館業務 ※東小、通山小兼務	事務部
40	P事務	高岡眞貴子			PTA関係庶務全般 図書館業務補助	事務部

令和元年度 通山小学校の教育

平成31年度 ふるさと川南の教育 ～ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

学校の教育目標

◎ 心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童を育成する

めざす児童像	めざす学校像	めざす教師像
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学び、深く考える子 ○ 思いやりがあり、礼儀正しい子 ○ 体をきたえ、元気な子 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知性を磨き、伸ばす学校(力いっぱい) ○ 明るく活気に満ちた学校(元気いっぱい) ○ 思いやりと笑顔のあふれる学校(やさしさいっぱい) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学び、創意工夫して指導の充実を図る教師 ○ 子どもに寄り添い、一人一人を伸ばす教師 ○ 家庭や地域と連携を図り、進んで実践する教師

学校経営ビジョン

ふるさと川南を愛し、心身のたくましさを兼ね備えた児童を育成するため、「かかわり」と「見届け」を大切にし、当たり前前を当たり前前にできる教育を実践する。

宮崎県教育基本方針

確かな学力 (頭をきたえる)	豊かな心 (心をきたえる)	健やかな体 (体をきたえる)
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基礎学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> ○ 目、耳、心で話を聞く指導の徹底 ○ 授業づくりのための4つのチェックポイントを基にした授業改善 ○ 対話的な学びの実践(問う・考える・描く力の育成) ○ ICT機器を活用した効果的な授業づくり ○ 確かな「見届け」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学びの時間」「たしかめの時間」の活用 ・ 家庭と連携した家庭学習の強化(保護者の見届け、「家庭学習の手引き」活用の徹底等) ○ 教職員の研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員間〇JTの推進(見合う・教え合う・磨き合う) ・ 校内研究を生かした相互参観の実施 ○ 英検 Jr (小6) の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自他を大切にする心と態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 心のこもったあいさつの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本一流を目指した取組の工夫(あいさつ・返事・笑顔) ・ 家庭・地域と連携した取組の工夫 ○ よりよい人間関係づくりと主体的な活動の展開(実態を受けて計画された特別活動の実践) ○ 人権意識を高める指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権週間の取組 ・ 日常指導の工夫 ○ 奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進 ○ 特別支援教育の理解と推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭への理解の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基礎体力の向上と望ましい生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の「さわやか運動」の継続実践 ・ 外遊びの励行 ○ 体育学習における活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上プランを生かした活動の工夫 ・ 運動施設の効果的活用 ○ 望ましい生活習慣の定着化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規則正しい生活リズムづくりの工夫 ・ 親子の健康意識の向上(「健康家族へ親子でチャレンジ」の取組を生かして) ・ 立腰指導の徹底 ○ 防犯・防災教室等の実施による安全教育の推進

第二次宮崎県教育振興基本計画

開かれた学校づくり

- ◎ 学校と家庭・地域が一体となって取り組む教育の推進
 - 地域の教育資源の有効活用
 - ・ 地域人材・素材を活用した学習の展開、新たな人材・素材の発掘と整理
 - ・ 地域学校協働活動推進員との連携強化
 - ・ 自治公民館と連携した活動の推進
 - キャリア教育を意識した教育活動の実践
 - ・ 地元企業等と連携した授業の開発・実践、県立農業大学校との連携の継続・推進
 - ・ 生き方教室の実施
 - 積極的な情報発信・情報交換
 - ・ ホームページの積極的更新、学校だよりの定期的発行
 - ・ 学校と民生委員児童委員との連絡会の活用
 - ・ コミュニティスクール導入による学校運営の改善

安心して通える学校 気持ちに通い合う学校 将来に通じる教育

幼・保・小・中連携 関係機関との連携

通山小学校 職員名簿

	職 名	氏 名	担任等	主任・校務分掌等
1	校 長	松岡 和幸		
2	教 頭	隈元 辰男		総務、衛生推進者
3	教 諭	水俣 輝男	理科専科3～6年 書写専科5～6年	教務主任、地域連携コーディネーター、理科主任 外国語活動主任、教育課程推進部
4	教 諭	宮越 純子	1年1組	保健主事、道徳教育推進教師、道徳主任 健康づくり推進部
5	教 諭	横尾 由紀子	2年1組	人権教育推進担当、生活科主任 特別活動主任、心の教育推進部
6	非常勤講師	内田 律夫	2年1組副担任	2年弾力化
7	教 諭	壹岐 乃理子	3年1組	生徒指導主事、国語主任、書写主任 心の教育推進部
8	教 諭	神戸 美樹	4年1組	研究主任、音楽主任、学力向上推進部
9	教 諭	橋本 和子	5年1組	学力向上推進担当リーダー、家庭科主任 学力向上推進部
10	教 諭	檜畑 秀明	6年1組	情報教育主任、算数主任、体育主任 健康づくり推進部
11	講 師	野添 大	ひまわり学級(知的)	環境教育担当、社会科主任 総合的な学習の時間主任、心の教育推進部
12	講 師	茂又 香織	たんぼ学級(自情)	特別支援教育コーディネーター、図書主任 図画工作科主任、学力向上推進部
13	養護教諭	佐伯 舞	保健室	給食主任、健康づくり推進部
14	事務主査	榎木 幸美	事務室	事務主任
15	町事務	橋口 ひろみ	事務室	事務、地域連携補佐
16	介助員	黒木 千織		特別支援学級支援等
17	介助員	森田 有紀		特別支援学級支援等
18	教 諭	加藤夕紀子	外国語専科	川南小学校から兼務

本校の教育目標

すぐれた知性と豊かな心を持ち心身ともにたくましく実践力のある児童の育成

目指す学校像

- 知性を磨き伸ばす学校
- 礼を正し規律ある学校
- 明るく落ち着いた学校

目指す児童像

- 進んで学びよく考える子
- 思いやりのある子
- 明るく健康でやりぬく子

目指す教師像

- 子どもの能力を伸ばす教師
- 授業の改善に努める教師
- 努力を惜しまない教師

学校経営ビジョン

家庭や地域の教育力を生かした教職員の専門性の高い日々の教育により、現在及び将来における自己実現に向けて一生懸命努力する「知」「徳」「体」のバランスの取れた児童の育成を目指す。

知

- ・基礎基本の確かな定着
- ・望ましい学習習慣の育成

①学ぶ意欲の向上

OJTの機能を生かした授業力向上に継続的に取り組むとともに、特別支援教育への組織的な取組による指導の充実を図り、学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命に勉強している」と答える児童の割合90%以上の継続を目指す。
(H30:95.4%・H29:88.7%)

②基礎学力の向上

個別指導の充実に努め、基礎・基本の確かな定着を図り、CRTテストで全児童一人一人の向上と全学年全国平均以上を目指す。
(H30:国語:2/6 学年、算数:4/6 学年達成)
(H29:国語:1/6 学年、算数:5/6 学年達成)

③読書の習慣化

図書室運営の工夫改善を中心に読書指導の充実を図り、年間の図書貸出総数13000冊程度を目指し、幅広いジャンルの本の貸し出しを目指す。
(H30:13126冊・H29:7716冊)

徳

- ・思いやりのある心の育成
- ・基本的な生活習慣の定着

①思いやりのある児童の育成

道徳科の授業の充実を図ることを中心に心の教育の充実を図り、見逃さない・見捨てない・あきらめない指導に徹し、学校生活アンケートにおいて、「友達に優しくしている。」と答える児童の割合90%を目指す。
(今年度新規)

②あいさつの活性化

児童の主体的な取組を促す指導や保護者・地域と連携したあいさつ運動の充実を図り、学校生活アンケートにおいて、「進んであいさつをする」と答える児童の割合90%を目指す。
(H30:84.0%・H29:83.5%)

③楽しい学校生活の保障

いじめはしない、許さないという心を育む指導の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合90%を目指す。
(H30:89.3%・H29:84.2%)

体

- ・基礎体力の向上
- ・健康増進と食育の推進

①基礎体力の向上

一人一人の体力の状況の把握に努め、体育科学習の充実と運動の日常化を図ることにより、新体力テストにおいて課題である柔軟性の向上を目指す。
(柔軟性のTスコア50以上の学年3/6)
(H30:0%)

②よい生活リズムの習慣化

保護者との連携をより強化し、学校生活アンケートにおいて「早寝をしている」と答える児童の割合85%を目指す。
(H30:87.8%・H29:80.3%)

③健康増進の意識の高揚

健康教育・食育に家庭・関係機関との連携を深めながら計画的に取り組む、学校生活アンケートにおいて「健康で安全な生活をしている」と答える児童の割合100%及びう歯治療率80%以上を目指す。
(健康 H30:91.3%・H29:96.2%)
(う歯 H30:74.3%・H29:81.4%)

家庭・地域社会との連携

- 学校参観日や行事への参加を地域住民に呼びかけ、学校ホームページや学校便りによる積極的な教育活動の情報発信により、開かれた学校を目指します。
- 家庭・地域社会とが一体となった計画的な教育活動の充実を目指し、家庭や金鈴学園との密な連絡を図ると共に地域人材をより一層活用した積極的な交流を推進します。

川南町教育基本方針 ふるさと川南を愛し、未来を拓く心豊かでたくましい川南の人づくり

宮崎県教育基本方針 未来を切り開く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり

東小学校 職員名簿

No.	職名	氏名	学年等	主任等		校務分掌
1	校長	田辺 弘美				
2	教頭	中川 浩伸		総務		
3	教諭	長井 英臣	理科専科 (3～6年) 音楽専科 (5～6年)	教務主任	理科主任、総合的な学習の時間主任 初任者指導、学力向上、地域連携	教務部
4	教諭	永友亜希恵	1年1組	学習指導部長	国語科主任、書写主任、図書主任	学習指導部
5	教諭	横山 華織	2年1組		音楽科主任、特別活動主任、キャリア教育	学習指導部
6	教諭	釘村 幸枝	3年1組		体育科主任、図画工作科主任	保健体育部
7	教諭	金丸 里美	4年1組	生徒指導主事	算数科主任、特別の教科道徳主任	生徒指導部
8	教諭	児玉 章裕	5年1組		外国語科主任、安全教育	保健体育部
9	教諭	関 智美	6年1組	研究主任	家庭科主任、情報教育、児童会活動	学習指導部
10	教諭	田崎めぐみ	あおぞら (知的障がい特別支援学級)	環境教育	生活科主任	生徒指導部
11	教諭	島田 静代	おすず (自閉症・情緒障がい特別支援学級)	棚田継承コーディネーター	社会科主任、人権教育主任	生徒指導部
12	養護教諭	柘山 真由	保健室経営	保健主事、 保健体育部長	給食主任	保健体育部
13	主事	松野 レナ	学校事務		県費事務	事務部
14	町事務	田中 聖枝	学校事務		給食事務、町費、体育館等借用、PTA 会計補助	事務部
15	町図書事務	綾部 晴華	学校図書館運営		川南小、通山小との兼務	事務部
16	町介助員	米田 洋子			特別支援学級と通常学級の1年生の支援	1年所属
17	非常勤講師	黒木しおり			初任研後補充 (山本小と兼務)	5年所属

令和元年度 川南町立多賀小学校 学校経営の構想

学校の教育目標

博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成

- ・ 法令、法規等
- ・ 第二次宮崎県教育振興計画（改訂版）
- ・ 宮崎県教育基本方針
- ・ 川南町教育大綱（町教育振興基本計画）
- ・ 川南町教育基本方針

めざす学校像

- あいさついっぱい为学校
- 落ち着いた学校
- 家庭や地域から信頼される学校

- ・ 時代や社会の要請
- ・ 児童の実態
- ・ 保護者や地域の願い

めざす児童像

やさしい子	かしこい子	たくましい子
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分から進んであいさつができる子ども ○ 思いやりのある言葉遣いができる子ども ○ 身の回りの整理整頓や片付けのできる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方を身に付け、自分ら進んで学習する子ども ○ 自分の考えをもち、積極的に発言したり行動したりできる子ども ○ 復習や予習など家庭学習に自分から進んで取り組む子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の生命を大切にできる子ども ○ 運動に親しみ基礎体力を身に付けることができる子ども ○ 規則正しい生活リズムで過ごすことができる子ども

学校の基本方針

【努力事項】 一人一人の児童をよく見つめ、よさや可能性を引き出し、最大限に伸ばす。

- 児童一人一人を見つめ、児童を中心にすえた経営に努める。
- 教育は蓄積であり、毎日、毎時の教育活動に全力を尽くす。
- 職員一人一人の特性を大切にし、全員が参画する経営に努める。
- 地域や保護者との連携を図り、信頼と期待に応える経営に努める。
- 地域に根ざした特色ある学校づくりを推進する。

学校経営ビジョン

「日々の小さな積み重ねで 大きな成果を！」をスローガンに、多賀小ならではの教育実践を通して、知、徳、体のバランスのとれた児童を育成し、信頼される学校づくりを目指す。

実現のための努力・実践事項

知育

- 目標
確かな学力を育む教育を推進する。
- 教職員の授業力向上と授業展開の工夫
 - 学校全体での組織的な学力支援
 - ICTの技能向上と効果的な活用
 - 読書の充実と新聞の効果的な活用
 - 家庭学習の充実

徳育

- 目標
豊かな心を育む教育を推進する。（人権意識の高揚）
- 相手の立場を思いやることのできる児童の育成
 - 特別の教科道徳の授業実践と充実のための研修
 - いじめ、不登校ゼロへの生徒指導充実

体育

- 目標
健やかな体を育む教育を推進する。
- 体力テストの分析結果を基にした体力向上
 - 基本的な生活習慣の徹底及び食育の推進
 - 疾病治療の促進

特別支援教育

- 目標
共生社会を目指す特別支援教育を推進する。
- 個々の実情の把握と必要十分な支援への取組
 - 校内支援体制の整備と関係機関との連携

家庭・地域との連携

- 「家庭学習の手引き」「身だしなみチェック表」「学校保健委員会の取組目標」等により連携する。
 - ◎ 早寝・早起き・朝ごはん ◎ 家庭学習の習慣 ◎ 家読 ◎ 健康教育
- 家庭教育学級・おやじ学級や長寿会、GBAの方など地域の方々の協力をいただきながら、学校と家庭、地域が一体となった多賀小ならではの特色ある教育の推進・充実を図る。
- 学校便りやホームページの更新、学校評価の結果公表などを通して、開かれた学校づくりに努める。

令和元年度 学級担任及び校務分掌

川南町立多賀小学校

番	職名	氏名	学年等	校務分掌	省令主任等	教科主任	その他	地区
1	校長	かい のぶあき 甲斐 伸明						
2	教頭	くりの けいいちろう 栗野 慶一郎		総務	コンプライアンス リーダー	5年算数TT	ハワハラ・セハラ担当 PTA担当	
3	講師	てらむら ちよ代 寺村 智代	1年	かしこさ 推進部		国語 生活	図書館教育	22
4	講師	きしもと こうき 岸本 航輝	2年	やさしさ 推進部		図画工作	環境教育	23
5	教諭	よしかわ まゆみ 吉川 まゆみ	3年	かしこさ 推進部		算数 特別活動	視聴覚教育 情報教育	24
6	教諭	くろぎ かずえ 黒木 一江	4年	かしこさ 推進部	部長 研究主任	総合	学力向上(We b) 町研究員	22
7	教諭	ながとも りつこ 長友 里津子	5年	やさしさ 推進部	部長 生徒指導 主事	社会 道徳		23
8	教諭	いけうち しゅんすけ 池内 俊介	6年	たくましさ 推進部	部長	体育 外国語活動	国際理解	23
9	講師	やました さよ 山下 紗代	2組	たくましさ 推進部		音楽	人権教育 福祉教育	23
10	教諭	たかみ ふみこ 高見 文子	3組	やさしさ 推進部		家庭 書写	幼保小連携 特別支援教育Co	21
11	教諭	いしい まさと 石井 真人	理科専科	教務部	教務主任	理科 6年算数 少人数	キャリア教育 地域連携Co 小中連携	21
12	養護教諭	くろずみ あやか 黒住 文香		たくましさ 推進部	保健主事		ハワハラ・セハラ担当 給食 衛生管理推進者	24
13	事務主査	かわさき しほ子 川崎 昌子					PTA会計	
14	町事務員	おおやね えつこ 大矢根 悦子					火・金曜日勤務 水曜日勤務 (奇数月)	
15	教諭	ますだ やよい 益田 やよい					育休中 2020年8月復帰予定	
16	町図書館 業務	こだま みすず 児玉 実涼					山本小所属 (本校週2日 勤務予定)	
17	町介助員	かわうち みゆき 川内 幸						

令和元年度 川南町立山本小学校 学校経営ビジョン

宮崎県教育基本方針

ふるさと川南町の教育
 ～ふるさと川南を愛し 未来を切り拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

【本校の教育目標】
心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成
「やる気 いっぱい」「やさしさ いっぱい」「元気 いっぱい」

【目指す学校像】
 ○ 明るく活気あふれる学校
 ○ 決まりを守り
 落ち着いた学校
 ○ うるおいのある
 美しい学校

【目指す児童像】
 ○ 進んで学び、
 よく考え工夫する子
 ○ 礼儀正しく、
 思いやりのある子
 ○ 明るくたくましい子

【目指す教師像】
 ○ 使命感と責任感のある教師
 ○ 一人一人の児童をよく理解し
 長所を伸ばす教師
 ○ 研修に励み創意工夫し実践を
 重んじる教師

児童の笑顔



教師の笑顔



学校経営の重点目標
 (笑顔いっぱいの学校・地域)

宮崎県、川南町の教育基本方針に基づき、教育目標の具現化を目指し、以下の事項を重点目標として、真心をもって児童に寄り添う教育を展開していく。

- 1 確かな学力の定着 (やる気 いっぱい)
- 2 豊かな心の育成 (やさしさ いっぱい)
- 3 健やかな体の育成 (元気 いっぱい)
- 4 教職員の資質の向上 (自己研鑽)
- 5 学校、家庭、地域社会の連携 (つながり強化)

保護者の笑顔



地域の笑顔



確かな学力の定着 (やる気 いっぱい)	豊かな心の育成 (やさしさ いっぱい)	健やかな体の育成 (元気 いっぱい)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わかる」「できる」が実感できる授業の展開 ○ 基礎・基本の定着と活用力の育成 ○ 主体的な学びの推進 ○ ICT活用の推進 ○ 特別支援教育・キャリア教育の充実 ○ 読書活動の推進及び家庭学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「山本小当たり前のこと3か条」の指導を中心とした基本的生活習慣の定着 ○ 道徳教育の充実及び規範意識の向上 ○ 積極的な生徒指導・人権教育の推進 ○ 勤労意欲・奉仕の精神の醸成 ○ 自然愛・郷土愛の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科体育の指導の充実 ○ 健康についての望ましい態度や習慣の育成 ○ 安全に関する危険予知・回避能力の育成 ○ 食に関する指導の充実 ○ 保護者と連携した生活リズムの確立

教職員の資質の向上 (自己研鑽)	学校・家庭・地域との連携 (つながり強化)
<ul style="list-style-type: none"> ○ OJT・メンター制を生かした自主研修・共同研修の推進 ○ 教師力向上に向けた職場・研修内容の改善 ○ 「チーム山本」としての組織的共同指導強化 ○ コンプライアンス遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育力向上 ○ コミュニティスクール制度の推進 ○ 小中連携や保小連携の推進

令和元年度 川南町立山本小学校 職員名簿

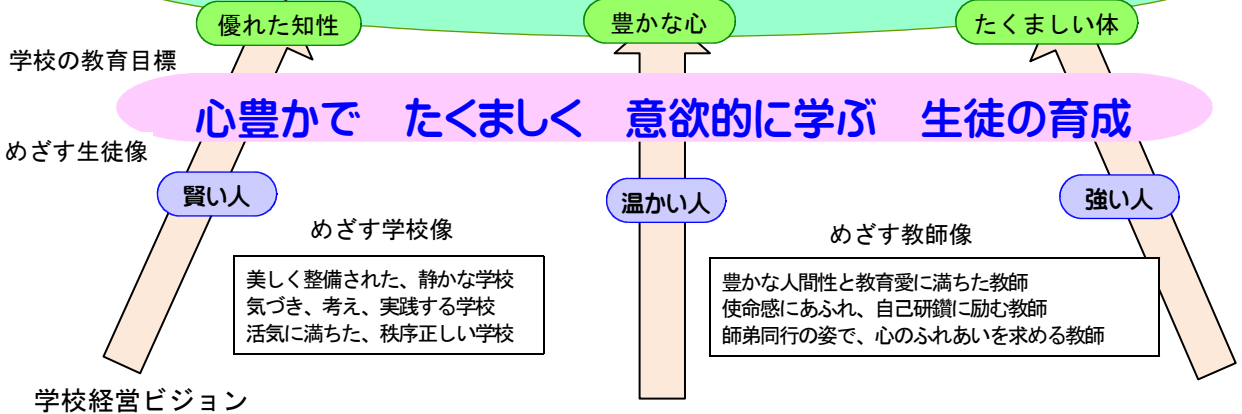
★～部長

No.	職名	担任	氏名	主任等	校務分掌
1	校長		おの まさあき 小野 雅照	防火管理者	
2	教頭		すもと こうじ 須本 康仁	コンプライアンスリーダー 衛生推進者 緑の少年団	総務
3	教諭	1年	いそなが 磯永 ゆかり	研究主任 保小連携 国語・書写 生活	★ 学力向上推進部
4	教諭	2年	くさかべ ひでお 日下部 英雄	教務主任 地域連携 保小中連携 キャリア教育 算数	★ 教務部
5	教諭	3年	あんざい かずこ 安在 香珠子	図書主任（図書館教育） 人権教育 社会	心の教育推進部
6	講師	3-2 特支 知	まるやま なおひろ 丸山 直祥	HP担当 安全教育 図工 特別活動	健康づくり推進部
7	講師	3-3 特支 自情	ふくだ きようこ 福田 恭子	作品募集 青少年赤十字 音楽	学力向上推進部
8	教諭	4年	みやざき なな 宮崎 南奈	福祉教育 掲示教育 総合的な学習	学力向上推進部
9	教諭	5年	かい なおかず 甲斐 尚和	生徒指導主事 国際理解教育 道徳（道徳教育推進教師） 外国語活動	★ 心の教育推進部
10	教諭	6年	ひらつか ゆき子 平塚 ゆき子	防災教育 体育（体育主任） 家庭	★ 健康づくり推進部
11	教諭	理専	よこお ひであき 横尾 英明	初任者研修 情報・視聴覚教育 特別支援教育コーディネーター 理科	心の教育推進部
12	養護教諭		きのした ほなみ 木下 ほなみ	保健主事 給食主任 健康教育	健康づくり推進部
13	事務主事		はぎわら かずえ 萩原 和枝	学校事務	事務部
14	事務補助		おおやね えつこ 大矢根 悦子	学校事務補助（多賀小兼務）	事務部
15	図書事務		こだま みすず 児玉 実涼	図書事務（多賀小兼務）	事務部（図書事務）
16	非常勤講師		くろき しおり 黒木 しおり	初任研後補充（東小兼務）	

令和元年度 川南町立唐瀬原中学校経営の基本構想

県の基本方針 未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり

川南町基本方針 ふるさと川南を愛し、未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり



学校経営ビジョン

生徒との信頼関係を基盤に「切磋琢磨」し、「チーム唐瀬原中」を合言葉に、家庭・地域とともに歩む学校を目指す。

こんな学校にしたい

- ・ 生徒が日々楽しく過ごし、思いやりの心に満ち溢れる学校
- ・ 保護者や地域から信頼を得て、子どもを安心して通わせたい学校
- ・ 職員が「チーム唐瀬原中」の気持ちを大切に、明るく働きがいのある学校

【学力の向上】	【豊かな心の育成】	【体力の向上】
<ol style="list-style-type: none"> 授業力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 分かる授業、できるまで教える授業、学び合いのある授業づくり 授業改善のチェックポイントの確認 ICTを活用した授業 思考力、表現力の育成 生徒指導の3機能を生かした授業 望ましい学習習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習習慣の形成 学習の手引きの作成と活用 個別指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的内容の定着度把握と個別指導の充実 習熟度別少人数指導の充実 Web学習単元評価システムの活用 特別支援教育の充実 学力向上関連の事項の充実 <ul style="list-style-type: none"> 検定試験の推進 読書活動の充実 レベルアップタイム、進級テストの実施 	<ol style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や規範意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> 明るい笑顔であいさつの習慣化 内面からの自己指導能力を高める 時間やきまりを守る指導の充実 小中連携によるルールやマナーの定着 「切磋琢磨」認め合い高め合う生徒育成 生徒指導の3機能を生かした指導の充実 キャリア教育の計画的な推進 望ましい人間関係づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針の見直しと周知徹底 いじめを生まない学校風土づくり 人権・同和教育の充実 自治的・自発的な活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動、学年生徒会活動、学級活動の充実 特別支援教育の充実 奉仕・体験活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 無言清掃の徹底 ボランティア活動への積極的参加 交通安全指導の積極的推進 <ul style="list-style-type: none"> ヘルメット、反射たすきの着用徹底 	<ol style="list-style-type: none"> 体力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 体力向上をめざす授業の充実 (体力向上プランの確実な実施) 体育的行事の充実 部活動の推進 (技能向上、礼儀・マナーアップ) 生命の尊重と健康・安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 安全教育・防災教育の積極的推進 健康診断結果による治療改善の推進 (う歯、目等の治療) 薬物乱用防止教室、性教育の実施 食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> マナーや感謝を育てる給食指導 家庭と連携した弁当の日の推進 基本的生活習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの確立 (規則正しい生活、望ましい食生活) 早寝・早起き・朝ご飯の推進

家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくり (地域と共に歩む学校)

- (1) 学校評価を生かした学校経営の推進
 - ・ PDCAサイクルの確立。スピード感と柔軟性を持った改善
- (2) 積極的な情報発信と開かれた学校づくりの推進
 - ・ 学校と家庭・地域を繋ぐ『宅級便』の活用。学校HPの随時更新
- (3) 小中連携、中高連携の推進
 - ・ NF教育研究会の活動充実。出前授業や乗り入れ授業の実施
- (4) 地域との連携推進 (学校運営協議会との連携)
 - ・ 地域人材の活用。地域で活躍する中学生の育成。
- (5) 職員のコンプライアンス意識向上
 - ・ 毎月チェックリストを実施。職員の意識高揚。職員研修の充実。

令和元年度 川南町立唐瀬原中学校 職員名簿

	職名	氏名	学年及び担任等	教科	校務分掌	
1	校長	甲斐 義教				
2	教頭	横山 博章			渉外 施設管理	
3	主幹教諭	神崎 雅博	3年副担	理科	教務部	教務主任
4	教諭	中村 大輔	1-1担任	技術	教務部	視聴覚情報主任
5	教諭	榎本 敬一	1-2担任 1年学年主任	数学	生徒指導部	生活指導
6	教諭	甲斐 一成	1-3担任	保体	保健体育部	体育主任
7	教諭	下川奈緒子	希望学級1担任	英語	生徒指導部	特別支援教育コーディネーター
8	教諭	北林 久幸	1年副担	理科	学習指導部	進路指導主事
9	講師	大平 真奈	1年副担	美術	保健体育部	給食主任
10	教諭	小並 透	2-1担任	社会	保健体育部	保健体育部長
11	教諭	西 隆行	2-2担任	数学	生徒指導部	生徒会
12	教諭	藤崎 孝敏	2-3担任	英語	学習指導部	学習指導部長
13	教諭	宇都宮美和	未来学級担任	家庭	教務部	道德主任
14	教諭	岡田富美子	2年副担 2年学年主任	国語	学習指導部	図書主任
15	教諭	古屋 真一	2年副担	保体	生徒指導部	生徒指導主事
16	教諭	後藤三紗子	2年副担任	音楽	保健体育部	生徒会会計
17	教諭	宇ノ木龍世	3-1担任	数学	生徒指導部	研究主任
18	教諭	佐野 育美	3-2担任	国語	学習指導部	進学主任
19	教諭	清水 美幸	希望学級2担任	英語	学習指導部	特活主任
20	教諭	清水 延幸	3年副担 3年学年主任	社会	教務部	
21	講師	羽田 泰子	3年副担	英語	保健体育部	少人数指導加配
22	養護教諭	谷 佳子	1年所属		保健体育部	保健主事
23	主任主事	平田 利恵			庶務一般	
24	図書事務	桑野 幸枝			図書事務	
25	町職員	鴨田 智子			庶務会計	
26	PTA職員	井出久美子			PTA事務	
27	スクール カウンセラー	中村 千穂			教育相談	

(内訳)

校長	教頭	主幹教諭	教諭		養護 教諭	主任主 事	計	講師	読書事務	町職	P職	スクール カウンセ ラー	総計
			男	女									
1	1	1	10	7	1	1	22	2	1	1	1	1	28



〔経営の基調〕

本校は、宮崎県及び「川南町教育大綱」、「平成31年度ふるさと川南の教育」の基本方針に基づき、近隣学校や関係機関等と連携し、地域に根ざし、地域とともに歩む笑顔あふれる中学校の教育活動を行う。

また、川南町の素晴らしい伝統・文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力などのこれからの社会を「人として」生き抜く力や確かな力をもった、社会に貢献する気概ある心豊かでたくましい生徒の育成を目指す。

学校の教育目標

ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい 生徒の育成

〈めざす学校像〉

- ・一人一人が存在感のある学校
- ・学ぶ意欲のあふれる学校
- ・先見性と活力のある学校
- ・地域とともに歩む学校

〈めざす生徒像〉

- ・ふるさとを愛し、貢献することができる生徒
- ・希望や信念をもち、その実現に努力する生徒
- ・心豊かで、しなやかさのあるたくましい生徒
- ・知的好奇心にあふれ、学び続ける生徒

〈めざす教職員像〉

- ・生徒と共に学び続ける教職員
- ・生徒と夢を語り、確かな力を付ける教職員
- ・生徒の心に寄り添い、気づき、動き、見守る教職員
- ・生徒の手本となり、尊敬される教職員

〔自立〕

〔立志〕

〔感謝〕

I 町民総ぐるみによる教育の推進

家庭、地域と連携し、信頼される学校づくり

- 1 学校、家庭、地域が一体となって取り組む教育の推進**
 - ・授業や学校行事等における地域人財(材)との積極的な連携
 - ・学校間連携の推進
 - ・関係機関等との連携
 - ・学校運営協議会の助言を生かした教育の充実
- 2 家庭や地域の教育力の向上**
 - ・PTA活動の充実
 - ・魅力ある家庭教育学級の実施
 - ・参観日、学級懇談会の充実
- 3 開かれた学校づくりの推進**
 - ・積極的な情報(学年学校便り、ホームページ等)発信
 - ・オープンスクールの実施
 - ・学校図書館の地域開放、受入体制の充実

V 生涯を通じて学び、挑戦できる社会づくりの推進
自ら学び、地域に貢献する生涯学習の基礎づくり

II 生きる基盤を育む教育の推進

学びや豊かな心、健やかな体の基礎づくり

- 1 確かな学力を育む教育の推進**
 - ・対話的・主体的で深い学びを実現させる授業づくり
 - ・学力テスト等を利用した学力向上のための取組充実
 - ・宮崎大学との連携
- 2 豊かな心を育む教育の推進**
 - ・自己実現を図る生徒指導の充実(いじめ防止基本方針に基づいた取組の充実)
 - ・道徳教育の充実
- 3 健やかな体を育む教育の推進**
 - ・保健指導の充実と体力向上プランの推進
 - ・弁当の日、食育の推進
 - ・部活動の活性化
- 4 共生社会を目指す特別支援教育の推進**
 - ・個に応じた特別支援教育の充実
- 5 人権が尊重される社会を目指す教育の推進**
 - ・思いやりのある言葉遣いの励行と人権教育の推進

III 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

夢や希望の実現を支える環境づくり

- 1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進**
 - ・川南の宝を活用したふるさと学習の推進
 - ・川南町歌、川南音頭等による町民意識の醸成
- 2 地域の課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進**
 - ・ボランティア活動等地域に貢献する活動への参画
 - ・小中合同活動の推進
 - ・生徒の主体的な活動を促す生徒会活動の充実
- 3 キャリア教育の推進**
 - ・社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進計画作成と実践
 - ・職場体験学習、奉仕体験活動の充実
 - ・地域人財(材)によるドリカム(職業)講話の実施

〈コミュニティ・スクールの導入〉

・コミュニティ・スクールとしての在り方を追究し、家庭・地域・行政の力を借りながら、将来の川南を担う人づくりを目指す。

IV 魅力ある教育を支える体制や環境の整備・充実

生徒をとりまく魅力的な人的・物的環境づくり

- 1 教職員の資質向上**
 - ・OJTの積極的な推進
 - ・指導力向上のための研修の充実
 - ・コンプライアンスチェック意識の高揚、
- 2 学校における安全、安心の確保**
 - ・自ら命を守る安全教育の推進(ヘルメット、たすき)
 - ・安全に配慮した施設・設備の管理
 - ・危機管理マニュアルの周知と緊急時の対応整備
- 3 学校の教育環境の整備、充実**
 - ・ICT機器の積極的な活用と研修の充実
 - ・施設設備等必要事項の町教育課への確実な報告・連絡・相談

川南町教育大綱(川南町教育振興基本計画)、平成31年度ふるさと川南の教育

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり



令和元年度職員一覧

川南町立国光原中学校

職名	氏名	担当学年	担当教科等	分掌等	部活動
校長	宮元 芳幸				
教頭	岩倉 徳生			総務	(剣道引率)
教諭	恵利 祐太	1年A級	理科	生徒会担当	男子ソフトテニス
教諭	植野 勝代	1年B級	英語	第1学年主任・道徳主任	(水泳引率)
教諭	山田 敏博	1年副担	国語	研究主任・書写主任	(陸上引率)
教諭	下沖 洋徳	1年副担	保健体育	教務主任	女子バレーボール
講師	内村 有希	1年副担	社会	部活動担当	女子ソフトテニス
教諭	田崎 泰功	2年A級	理科	第2学年主任	男子バスケットボール
教諭	中里 美紀	2年B級	国語	学習部長 国語主任・図書主任	男・女ソフトテニス(副)
講師	河野 桃子	C 級	音楽	図書副主任	音楽部
講師	今藏屋 太基	2年副担	数学	生徒会担当	サッカー
養護教諭	長友 直子	養護教諭	保健担当	保健主事・給食主任	美術部 (副)
教諭	田中 攝	3年A級	美術	第3学年主任	美術部
教諭	寺田 憲生	3年B級	数学	生徒指導主事	軟式野球
教諭	山本 夏樹	D 級	社会	特別支援教育コーディネーター	女子バスケットボール
教諭	児玉 径	3年副担	数学	進路指導主事・進学主任	
講師	戸高 七海	3年副担	英語		空手道
講師	諏訪 一真	初任者補充	理科		
事務主査	寺坂 昭洋	学校事務	学校事務	事務部	
町職員	内尾 和恵	学校事務	学校事務	事務部	
スクールカウンセラー	日高 隆雄		教育相談	教育相談	
A L T	ジェームズ・クラーク・シャーマン		英語		
教諭	瀬川 和美	英語 (宮崎大学大学院派遣)			
教諭	山崎 彩	数学 (育児休業)			

○ 職員の構成

	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	事務主査	町事務	図書館事務	介護員	合計
男	1	1	7	2	0	0	0	0	0	11
女	0	0	3	3	1	1	1	0	0	9
計	1	1	10	5	1	1	1	0	0	20

令和元年度 川南町立小・中学校研究主題

	学 校 名	研 究 主 題	研究領域	備 考
1	川南小学校	児童が「分かる！できる！やってみよう！」と感じる授業の創造 ～ 課題解決に向けたチームでの授業改善をとおして ～	国語科 算数科	
2	通山小学校	児童が主体的に学ぶ授業の創造 ～ 「分かる」「できる」を促す対話を取り入れた授業づくり ～	全教科	
3	東小学校	自分なりの目標をもち、周囲と協力しながら学びに向かう東っ子の育成 ～ 通常学級における特別支援教育に焦点をあてた授業改善を通して ～	全教科	
4	多賀小学校	読解力を身に付けた児童の育成 ～ 国語科における授業改善を通して ～	国語科	
5	山本小学校	「わかる」「できる」が実感できる授業の工夫 ～ 授業改善と指導技術の向上を通して ～	全教科	
6	唐瀬原中学校	生徒が主体的に取り組む授業や学習活動の推進 ～ 4つのチェックポイントと学び合いの実践を通して ～	全教科	
7	国光原中学校	生徒一人一人の確かな学力の向上を目指して ～ 聴く力の育成と授業力の向上を目指して ～	全教科	

令和元年度 川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書

平成31年4月1日
川南町教育委員会
川南町立小・中学校校長会

1 名 称 「川南町ニューフロンティア教育研究会」(NF教育研究会)

2 趣 旨

川南町の教育基本方針には、生まれ育ったまち川南を愛し、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や希望の実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成が謳われており、また、学校教育においては、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育む教育の推進が目標として挙げられている。特に、本町においては、児童生徒の確かな学力の向上が重要な教育的課題のひとつであり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成を図る必要がある。

しかしながら、学校教育は、1校単独の学校の努力だけでは効果が上がるものではない。そこには、教育委員会を中心としながら、町内各小・中学校、関係諸機関、各種団体との連携強化が必要不可欠である。これまでも、川南町内の小・中学校が連携し、児童生徒の学力・心の教育、運動能力等さまざまな課題の解決に取り組んできたが、十分な成果を得るまでにはいたっていない。あらためて、各学校における教育課程の編成・実施・評価、日常の学習指導、教育環境の整備充実、教職員の資質向上、家庭や地域との連携等、さまざまな課題の解決が望まれるところである。

そこで、川南町の教育方針や学校教育の目標、学校教育をめぐる諸問題をふまえ、小・中学校の連携を強化し、各校の共通的問題の解決を図るために、「川南町ニューフロンティア教育研究会」の一層の充実を図り、川南町の学校教育の質的向上を目指すものである。

3 目 的

川南町の教育方針及び学校教育目標に則り、各学校が特色ある教育課程の編成を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「家庭や地域との連携」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。

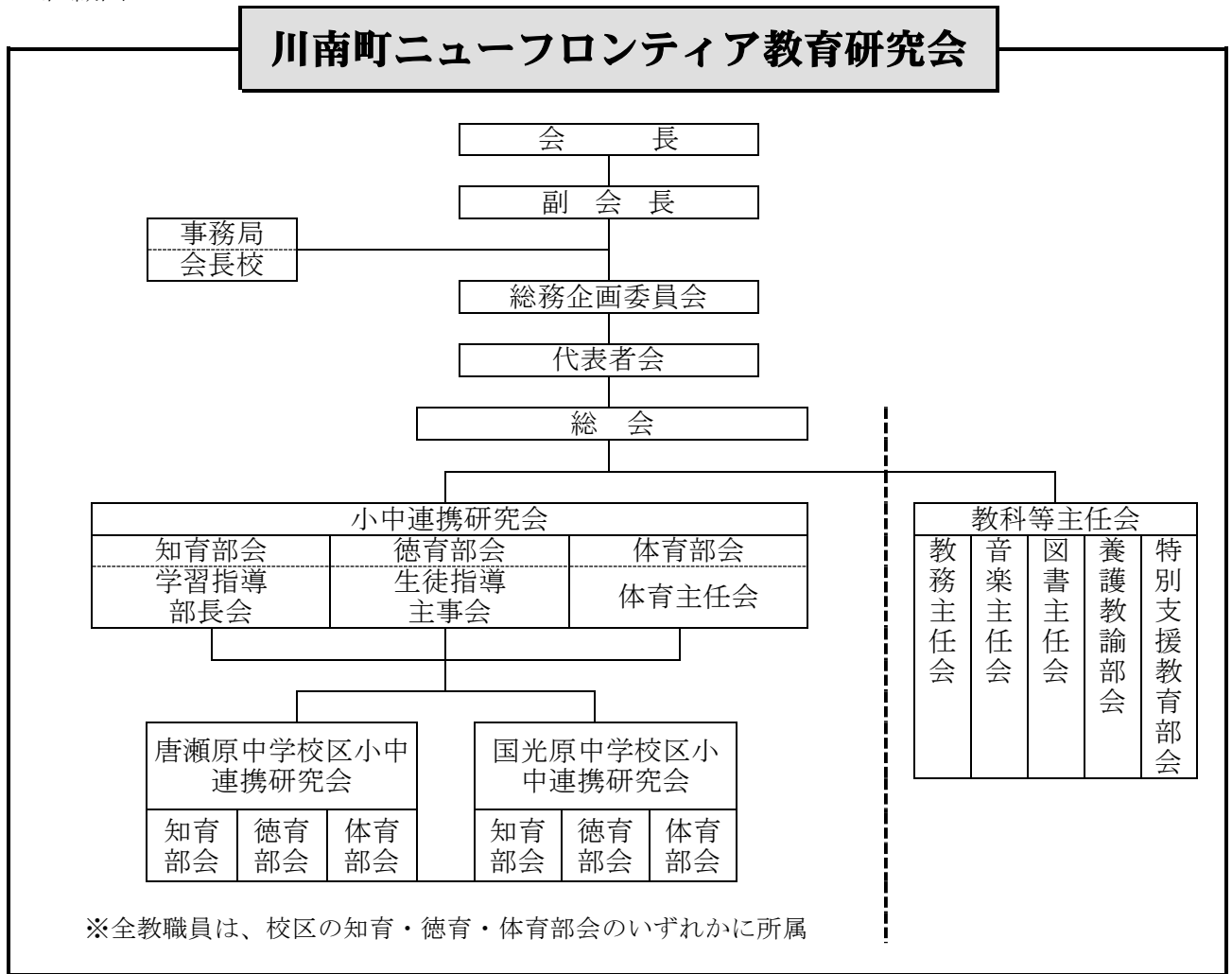
4 研究内容

- (1) 各学校の教育課程の編成に関すること。
- (2) 児童生徒の学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの推進に関すること。
- (3) 児童生徒の文化活動の推進に関すること。
- (4) 児童生徒の特別支援教育の推進に関すること。
- (5) 教職員の資質向上に関すること。
- (6) 家庭や地域との連携に関すること。

5 会の組織

- (1) 総務企画委員会
- (2) 代表者会
- (3) 総会
- (4) 小中連携研究会知育・徳育・体育部会
- (5) 中学校区小中連携研究会
- (6) 教科等主任会

6 組織図



7 委員会・部会等の構成（案）

委員会・部会等名	人員	構 成 員
総務企画委員会 ※定例校長会の際に開催	9	会 長 1 名（町校長会副会長等） 副 会 長 1 名（町校長会会長） 各種委員会等会長 5 名（各校長） 顧 問 1 名（町教育委員会教育長） 教育委員会担当 1 名（町教育委員会教育課教育対策監）
代表者会（年 2 回）	3 8	川南町各小・中学校代表・川南町教育委員会等
総 会	全員	川南町各小・中学校教職員・川南町教育委員会等
知育部会（学習指導部長会）	各 10	会長 1 名（校長） 副会長 2 名（教頭） 各学校各担当主任等
徳育部会（生徒指導主事会）		
体育部会（体育主任会）		
唐瀬原中学校区小中連携研究会		会 長：当番校長（東小）（東小→唐瀬原中→川南小→山本小） 副会長：当番校以外の校長 全職員参加
国光原中学校区小中連携研究会		会 長：当番校長（国光原中）（国光原中→通山小→多賀小） 副会長：当番校以外の校長 全職員参加
知育部会（学習指導部長会）	各 10	会長 1 名（校長） 副会長 2 名（教頭） 各学校担当主任等
徳育部会（生徒指導主事会）		
体育部会（体育主任会）		
教科等主任会（5主任会）	各 8	会長 1 名（校長）・各学校担当代表

8 総務企画委員会

NF 総務企画委員会 〈運営組織〉 会長 副会長 委員 (校長 7名) 顧問 教育長・教育対策監 〈会務〉 1 計画・運営の検討 2 年間の業務について企画・運営 3 予算の配分 4 計画書・報告書の取りまとめ 5 予算書・決算書の取りまとめ 6 報告書等の印刷・製本・配付 7 教育講演会の企画

事務局…多賀小学校 〈組織〉 会長 会長校の教頭(事務局長)、職員 〈会務〉 1 計画の原案作成、製本、説明 2 予算の管理・執行 3 計画書・報告書の取りまとめ 4 予算書・決算書の取りまとめ 5 報告書等の印刷・製本・配付 6 教育講演会の運営
--

9 教科等主任会・部会 担当会長等

教科等主任会	会 長	部 会	部会長・副部会長
教 務 主 任 会	田辺 弘美(東小校長)	知育部会	草薙 良雄(川南小校長)
音 楽 主 任 会	小野 雅照(山本小校長)		荻原健弘(川南小教頭) 須本康仁(山本小教頭)
図 書 主 任 会	甲斐 伸明(多賀小校長)	徳育部会	甲斐 義教(唐瀬原中校長)
養護教諭部会	松岡 和幸(通山小校長)		横山博章(唐瀬原教頭) 岩倉徳生(国光源中教頭)
特別支援教育部会	宮元 芳幸(国光源中校長)	体育部会	田辺 弘美(東小校長)
総務企画委員会	甲斐 伸明(多賀小校長)		中川浩伸(東小教頭) 隈元辰男(通山小教頭)

※知・徳・体育部会には、教頭2名を副部会長として配置(NF会長校教頭を除く)する。
 部会の実務は副部会長が担当する。NF会長校教頭は、事務局長・会計を務める。

10 活動計画

時 期	内 容	備 考
4月 11日	総務企画委員会 役割分担及び本年度の活動内容等の検討	(第2回川南町校長会で実施)
5月 8日	第1回川南町NF教育研究会代表者 (小中連携研究会知・徳・体部会) 本年度の取組について	校長、教頭 計14名 知・徳・体部会担当主任 計21名 総計35名
6月 上旬	活動計画・収支予算書作成、書類提出 教科等主任会、中学校区研究会、知・徳・体部会	
6月 下旬	補助金申請(総額47万円を予定)	補助金配付
6月～2月	各研究会における活動及び予算の執行	各中学校区別研究会(授業公開等) 国中校区：6月12日(水) 唐瀬原中学校 唐中校区：11月7日(木) 東小学校
8月 21日	川南町NF教育研究会総会 ・小中連携知徳体部会 ・教育講演会	全教職員 川南町教育委員会
2月 上旬	活動報告・決算報告作成、書類提出 知・徳・体部会、中学校区研究会、教科等主任会	補助金執行残金の回収 実施報告書・決算書作成
2月 下旬	第2回川南町NF教育研究代表者会 ・小中連携知徳体研究部会報告 ・町教育論文表彰式・発表会	校長、教頭 知・徳・体部会担当主任 教科等主任会理事長
3月	活動の総括 次年度への課題の整理、改善点の検討	



川南町立川南小学校

創立 明治33年 住所 川南町大字川南13493番地1 電話 0983-27-0004

校長 草薙 良雄

教育目標 **全力一心「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」**

児童数(人)

1年	78
2年	65
3年	73
4年	73
5年	75
6年	66
合計	430

全教職員数 39人
PTA戸数 310戸



町内で一番大きな学校です。子どもたち一人一人の想いや願いを大切に、学校・家庭・地域が一体となった信頼される学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



社会福祉体験学習



あいさつ元気隊・応援隊



よのなか教室



ふれあい参観日(もちつき)



川南町立通山小学校

創立 明治2年 住所 川南町大字平田6383番地 電話 0983-27-0847

校長 松岡和幸

教育目標 **心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童を育成する**

児童数(人)

1年	24
2年	33
3年	30
4年	25
5年	33
6年	34
合計	179

全教職員数 17人
PTA戸数 129戸



子どもたちの朝のあいさつ運動やボランティア活動も活発です。家庭・地域と力を合わせ、子どもたちの「頭・心・体」を鍛え、笑顔あふれる学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



小中合同あいさつ運動



高齢者とのふれあい活動



JAXA宇宙教室



浜うどんづくり



川南町立東小学校

創立 昭和23年 住所 川南町大字川南21909番地1 電話 0983-27-0101

校長 田辺 弘美

教育目標 **すぐれた知性と豊かな心をもち 心身ともにたくましく実践力のある児童の育成**

児童数(人)

1年	17
2年	22
3年	23
4年	16
5年	22
6年	27
合計	127

全教職員数 17人
PTA戸数 84戸



もちつきやいもほり等の様々な体験活動を通して、知・徳・体のバランスの取れた教育を地域の方々と一体になって進め、地域とともにある学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



朝の読み聞かせ



オープンスクール(タグラグビー)



もちつき体験



いも植え(1・2年生)



川南町立多賀小学校

創立 明治41年 住所 川南町大字川南15113番地2 電話 0983-27-0234

校長 甲斐伸明

教育目標 **博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成**

児童数(人)

1年	14
2年	16
3年	12
4年	11
5年	20
6年	20
合計	93

全教職員数 15人
PTA戸数 66戸



「地域ふれあい活動」や「多賀ふれあいフェスタ」など多くの方々との交流をとおして、地域の文化拠点としての学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



かんかん踊り



田植え



地域ふれあい活動



多賀ふれあいフェスタ



川南町立山本小学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南17741番地 電話 0983-27-0814

校長 小野雅照

教育目標 **心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成**

児童数(人)

1年	15
2年	13
3年	12
4年	13
5年	12
6年	10
合計	75

全教職員数 16人
PTA戸数 50戸

小規模校ならではのきめ細やかな子どもたちへの指導を通して、心豊かな人づくりとともに学力向上に努めています。



特色ある教育活動



奴踊りの伝承



園児との交流



昔の遊び



みどりの少年団活動(植樹)



川南町立唐瀬原中学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南19664番地1 電話 0983-27-0044

校長 甲斐義教

教育目標 **心豊かで たくましく 意欲的に学ぶ 生徒の育成**

生徒数(人)

1年	95
2年	88
3年	68
合計	251

全教職員数 26人
PTA戸数 214戸

生徒との信頼関係を基盤に「切磋琢磨」し、「チーム唐瀬原中」を合言葉に、家庭・地域とともに歩む学校を目指します。



特色ある教育活動



あいさつ運動



読み聞かせ



体育大会



文化祭



川南町立国光原中学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南23566番地1 電話 0983-27-0046

校長 宮元芳幸

教育目標 **ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい 生徒の育成**

生徒数(人)

1年	61
2年	61
3年	67
合計	189

全教職員数 22人
PTA戸数 171戸

川南の素晴らしい伝統・文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力やこれからの社会を「人として」生き抜く力、社会に貢献する気概のある心豊かでたくましい生徒の育成を目指します。

特色ある教育活動



あいさつ運動



生徒会活動



体育大会



文化祭

川南町教育委員会

教育委員会組織

教育長 坂本 幹夫
 職務代理者 内野宮 恵
 教育委員 富山美津子
 教育委員 小嶋久美子
 教育委員 黒木 実

教育委員会事務局

教育課

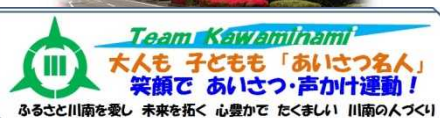
川南町教育委員会は、「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり」を目標に掲げ取り組んでいきます。また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに「生きる力」を育み、「生まれ育ったまち川南」を飛躍・発展させ、「あらたなまち川南」を創造していくことができる人材の育成と生涯にわたって学び続けることができる教育環境づくりを推進します。

学校教育に関する相談窓口

子どもに関する不登校やいじめ、問題行動、学習等、または、学校教育全般に関する相談は、各学校もしくは下記まで、ご連絡ください。

教育課 電話 27-8019

FAX 27-1028



川南町歌

一 日向灘 躍る朝日の

かがやく 光に立ちて

いま拓く みどりの山河

はつらつと 生命は萌ゆる

あゝ川南 伸びゆくところ

二 尾鈴山 つらなるみなみ

陽はみちて 幸は豊に

いざ建てん わが町ここに

清新の 産業息吹く

あゝ川南 興さん共に

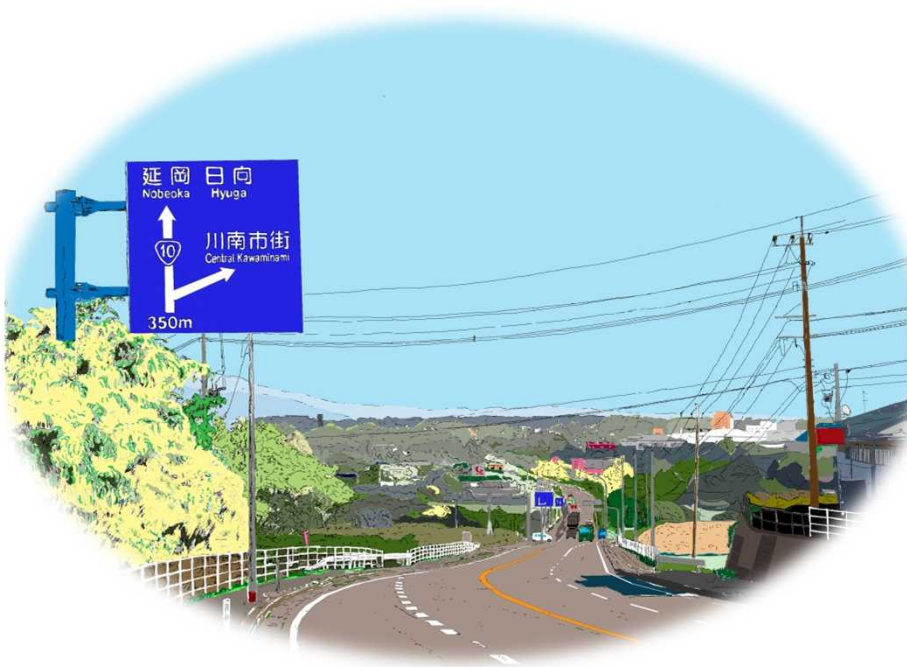
三 わきあがる 時代の生氣

海山に ちまたにあふれ

見よ咲かす 文化の花に

躍進の 人の和固し

あゝ川南 栄えよ永遠に





Team Kawaminami

**大人も 子どもも「あいさつ名人」
笑顔で あいさつ・声かけ運動!**

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かで たくましい 川南の人づくり